京城日報
（年中無休刊）
發行兼編輯人 貞田治敬 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號長六千九番 振替京城三〇〇番

十月一日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

米ダルマチヤ回復

米國海軍省の發表する所に依れば巡洋艦オリムピツクより上陸したる米國水兵の一團は流血を見ずしてダルマチヤの沿岸スラブを伊太利より回復したりと（華盛頓電報）

英紙罷業批難

英國新聞は一齊に鐵道同盟罷業を批難し一千九百十四年以來最も重大なる危機を構成せんとするものなりと斷言しモーニングポスト紙は『勞働團體が國民の利益を無視することを主張せんとするものなりとせば吾人は此論點に關し飽く迄奮闘せざるべからず』デーリーエキスプレス紙は『國民の一部が國家に抗せんとする今回の企畫の如き抑壓者の墨帶を明瞭に表示したることは無し』タイムス紙は『如何なる國民的論據より見るも同盟罷業者は正當なりと云ふことを得ず』と論ぜり（倫敦電報）

ウ氏健康回復

ウイルソン氏乘用特別列車中よりの二十七日發電に曰く「ウイルソン氏は『廿六日夜は可なりよく睡眠したり』附添醫師グレーソン氏發表の容態は變化を示さざるも睡眠により稍健康回復したり」と（華盛頓電報）

對西藏攻勢訓令

西藏問題に關し唐繼堯、熊克武氏等の强硬なる意見を陳述せるに對し中央政府は二十六日復電を發して對英交涉今尚結末を見ざるも藏番の侵入に對しては防禦の態度を取り停戰滿期後は直ちに攻勢に轉じ川邊より進出すべしとの訓令を發したり又唐繼堯氏は特に雲南軍を以て南數より西藏に進擊すべきを命ぜり（北京電報）

北方武力計畫 密議

和議の開會が愈々絕望となりたる際は王總代表及び各分代表は直ちに南京に引上げ同地に於て其後の對策を定めんとする意嚮にして其の際には當然北方武力の準備を必要とするを以て王總代表中央政府曹錕、倪嗣沖、張作霖各督軍の間已に密電を以て武力計畫議せられつゝあり（北京電報）

支那主張要點

寬城子事件第二回交涉開始

寬城子事件第二回交涉開始せられたるが同交涉中奉天に於て交涉しつゝあるは第二項より第五項迄にして支那側の主張は第三項張作霖氏謝罪の件に就き當時の責任者吉林督軍孟恩遠氏は既に更迭し又巡閱使官制改革に依り張作霖氏は其の責に任ずるの理由なしとて是れを削り又警察官指揮官及び巡警を處罰するの件は警察官が衝突に參加したる事實なきを以て其の撤回を求むべし併し第二回交涉に依り彼我の意見は接近し來るべしと解せらる兎に角親日を標榜せる張氏の此の態度は注目に値すべし（奉天電報）

代表辭退顚末

高野博士の經過發表

高野博士は二十九日午後より大學統計學研究室に閉ぢ籠り矢作吉野兩博士等と最後の打合せ會を開き同夜十一時三氏相伴ひて農相を官邸に訪ひ大塚次官其の他と會見し正式辭退の旨を述べ引續き自邸にて各新聞記者に對し辭退の經過を朗讀せるが其の大要次の如し（東京特電）

自分は二十五日午後一時半自ら友愛會を訪問し自分と同會との立場に就き同會の理事者と意見を交換したるが友愛會の態度は自分の豫想に反し飽く迄自分の受任に反對することを主張して止まない自分は同會理事者の熱誠と自分の年來の組合の宿望に鑑み是れを無視して行ると云ふことは出來なかつた。勞働團體の後援なく否其の反對の下に組合を代表せる一名の顧問も無く勞働代表委員として勞働會議に臨むことは到底堪へ難き所であるので自分は熟慮の結果二十六日午前二時最後の決意を翻へし矢作森戶二君を以て當局に其の辭退を致した。是れを知つた友人等は何とかして友愛會の主張と自分の立場との間に調和を見出さんとし政府友愛會の間に斡旋した。發表の遲延したのは是等の人々に對する自分の德義上の義務である而かも今は其の調和の絕望なること明かとなつたので自分は茲に安心して承諾の辭退に至る迄の顚末を有りの儘に公にしさうして私の不明を謝し度いと思ふ々

▲鮮銀總裁披露 納同副總裁松平東拓理事松崎朝郵專務其他重なる民間實業家三十餘名を招待主人側よりは水野政務總監各局長列席する由

時間短縮實施 郵便電信電話

鮮內の郵便電信電話取扱時間の短縮並に時間外電報の取扱廢止は十月一日より實行したり尚ほ今回の改制中直接公衆に不便を與ふるは電報なるべきが時間外取扱電報廢止の結果午後八時（滿洲は午後七時）以降內地滿洲臺灣等より朝鮮に發電せんとするには至急電報となす外方法なき事となりたり

旅團幹部演習

步兵第三十九旅團幹部演習は十月六日より十二日迄京畿道に於て又步兵第四十旅團幹部演習は十一月二十一日より十一月二十六日まで全羅北道に於て實施する事に決定し步兵第三十九旅團幹部演習の集合地は龍山步兵第七十八聯隊なりと

倫敦銀塊低落

三十日正金銀行着電に依れば倫敦銀塊は前電以來八分の二方低落し八十二片八分の五なり（大阪電報）

諭告

朝鮮統治の方針たる一視同仁の大義に遵ふべきは、畏きに渙發せられたる詔書に依りて昭かなり。朝鮮民衆は、深く宏謨を體し、文化に進み、休明の澤を享くる事を期せざるべからず。若し夫れ不逞の流言に蠱惑せられ、安寧秩序を紊亂するの言動を敢て爲す者あれば、其の何人たるを問はず、斷乎として之を處斷し假借する所無かるべし。彼の恐喝して商店の閉鎖を强迫する者或は此に附和雷同して閉店を敢てする者には、從來は只だ其の自覺を喚起するに努力したるも、萬一今後再び之を敢てする者あれば之を看過するを許さざるを以て、本官は、大正三年七月制令第十三號行政執行令に依り必要なる檢束を加へ以て公安の維持を圖る所あるべきにより、良家の商估は其業に安堵し、秋毫も誤つて刑辟に觸るゝが如き事なきを期すべし。

大正八年九月三十日

京畿道知事 工藤英一

新任兩知事

新任忠淸南道知事時實秋穗氏並に同平安北道知事飯尾藤次郎氏は一日朝釜山に入港し連絡船にて上陸直ちに十時發の急行列車にて北行したり（釜山特電）

秋期釋奠執行

略式にて擧行されん

秋期釋奠祭は十月二日午前九時より崇信洞經學院に於て擧行の筈なるが本年は故李太王殿下の喪中なるを以て略式にて行はるべく從つて今回は各方面に對する案內狀講演會及び飲福等は總て之を省略する事となれり式は大提學缺員中なるを以て副提學朴齊斌氏主宰すべし

總督邸晩餐會

齋藤總督は二日午後六時半より官邸に於て晩餐會を催し各選部

瓦斯事業不振と將來

◎瓦斯事業を瀕死の窮地より救濟すべく過般來全國瓦斯業代表者が會合して鳩首協議せしが元來瓦斯事業界が石炭、鐵材其他主要消耗品の暴騰にて其營業頗る困難となり收支の均衡を得ざるの結果遂に瓦斯會社を解散し若くは營業休止の擧に出でしもの全國瓦斯會社數九十有五中其三分の一以上に達し尙ほ逐次增加せんとするの傾向を示せり

◎全國瓦斯會社の本年上半期中の成績を見るも概ね前年下半期に比し業績不良にして名古屋、廣島、神戶の各瓦斯會社が各々一割配當をなしを最高とし豐橋、堺、京都及び京城の各瓦斯會社が年八分の配當をなしは之れに次ぎ其他足利、下關の各々六分、大阪瓦斯の六分五厘、東京瓦斯の五分二厘等は尙ほ成績不良ならずと唱へて營業せる總會社數七十餘の三分の一に何れも無配當若くは若干の缺損を繰越すの悲境に沈淪し居れり

◎全國瓦斯會社本年上半期の平均配當率は約五分に過ぎず之を前期に比し一分五厘內外の低落にて最近瓦斯事業界の不振動搖相當料金の引上げを斷行すると共に一面經費を節約して持久策の樹立に努めんとせるが現下の急務は料金の値上げをなす外に途なきも其餘りに急激なる料金引上げは勢ひ需要減退を來して事業の衰運を惹起するの虞あれば他に於て根本的に發展策を講ずるにありと云ふべし

◎瓦斯事業が近來益々電氣事業の壓迫を受けて燈火として社會よりの要求は既に過去に屬し毫も發展の餘地なく唯だ動力及び熱用方面に於て一縷の望みありと云ふも之れ單に工業の盛大なる大都市に於てのみ要望せられ地方僻陬の小都市にあつては左まで必要なきは今後電氣事業と一方面に向つて進むは到底競爭に堪へざるの不可能事なり

◎要するに現下の瓦斯事業界を救濟し將來の發展策を樹立せんと欲せば瓦斯事業を國家的必須の工業たらしむべく從來の瓦斯を副生物として主力を精製事業に傾注して石炭乾餾業を大いに發揮し工業藥品染料等の產出に關しては大いに研究の餘地あり同も必要なるべく唯だ料金値上と云ふべく勢ひ小瓦斯會社の合同の一事に熱中して電氣事業の後塵を拜するが如きは到底瓦斯事業界の發展を企圖すべき由なくして石炭利用の科學的研究は瓦斯事業家として頗る緊要なる事と云ふべし（大阪より）

全鮮宣教師聯合大會決議

總督府に提出

九月二十五日より京城西大門ハリソン記念館に開催せる全鮮宣教師聯合大會は豫定の議事を終了し二十九日を以て閉會せるが出席宣教師は各地各派代表者九十六名にしてヒューミラー氏議長席に就き議事は日程に依り各分科委員會として協議せり今回の會議に於ては過般騷擾事件に坐し目下收監中の宣教師もあり又信徒內にも分離動搖せる者妙からず新計畫を樹て新施設を行はんとするには多大の不便の伴ふものありとの見地より新計畫等の協議無く議事は頗る無事閑散に經過せり總督府の施設改善に就ては大會の決議として左の三箇條を總督府に提出の筈なり

一、現在朝鮮に於ける布教上の諸規則は徒らに繁文褥禮的にして然も總て總督府の認可を經ざる可からざるは信教の自由を拘束する事甚だし之が緩和を希望する事

二、教會及宣教師に依て經營せらるゝ學校に宗教科目を課し得られざる事は不合理なり教科目中に宗教科目を加へ得らるゝ樣改正を希望する事

三、教會其他の所有地は個人名義の所有を認めらるゝも社團並財團法人の所有に移す事不可能なり適當に改正を希望する事

又、公娼其他醜業制度廢止、禁酒法實施、阿片煙造販賣禁止及び笞刑廢止等は例に依り希望條項として當局に具申すべき事を申合せたり以上三箇條の決議に對しては多少事情を知らざる點もありて某外人宣教師の如きは此の決議を評して曰く『第一規則緊縮に過ぐとの事なるも一定の書式を知れば別に煩はしき手數もなき事にして予の如き多年彼等の事務に精通せる部下を有し居れば別に何等苦痛に感ぜし所無し第三社團及び財團に對し所有權を移す事の不可能なりと云ふも不可能なるには非ず予は實際個人所有の土地を財團の所有に移したる事あり唯其際財產百圓に對し三圓五十錢の稅を課せられたるは聊か過當の率なるやに思惟せり』と

墓地規則改正趣旨（下）

大塚參事官談

墓地特設に關して或制限を加へたりしは濫りに多數の墓地を設くる事は土地利用上より見て又は各般公共上の施設に障害を及ぼす可き事は前述の如くなるを以て其の制限に該當せざるものは特設を認めずとせる次第なり

其制限は（一）共同墓地以外に於て祖先又は配遇者の墳地を有するものは其の墳墓の境域に接續し（二）其の土地は自己の所有地たる事を要し（三）戶に付き一箇所を越ゆる事を得ず（四）而して其面積は三千坪を越ゆるを得ざる事とせり其他家族多數にして墓地に埋葬の餘地なきに至りたるとき、土地の狀況の變化に依り墓地に適せざるに至りしとき特別の理由あるもの等に對しては道知事の許可を得て墓地の特設を認めあり然れども遠隔の地に住所を移轉し自己の墓地に屍體を運ぶ事の不可能なる者に對しては祖先の墳墓を有せずとも特設を認め又社會的地位の向上し墳墓を所有せざる者に對しても道知事の許可を得て之を設くる事を得るの

例外をも設けたり而して以上述べたる墓地特設に關しては例外を除く外總て十日以內に道知事に屆出で別に許可を要せざる事となれるを以て或は從來の如く他人の土地及び墓地以外に埋葬改葬する者無きにしも非ず斯の如き事例は往々頗る多かりしに鑑み之が取締の方として罰則として一年以下の懲役又は二百圓以下の罰金に處せらるゝのみならず埋葬者をして之れを他に改葬せしめ又は埋葬者の費用を以て警察署長之を改葬し有者又は管理者は警察署長の許可を得て共同墓地其他適當の土地に改葬する事を得せしめ其の他死亡屆は府及び面に提出する官廳之れを認し不便多かりしを以て今回の改正に依り府及び面に於て認許證を下附する事に定められたり

期米賣買盛行

當期二千五百萬石

仁川取引所の期米賣買高が逐月增進しつゝある事は既報の如くが九月末日を以て締切りたる當期の賣買總石數を聞くに左の如く二千四百八十一萬零七百石を示し居れり逐月の賣買高は

六月 四百十六萬九千六百五十石、七月 五百七十四萬五千六百石、八月 六百八十八萬八百五十石、九月 八百萬六千六百石

尙ほ九月初め許可されし內鮮人新仲買五名は何れも相前後して九月中に開業したるを以て十月以降は更に賣買の增加を見るべく一箇月一千萬石賣買の記錄を作り得るやも圖られずと

三十九圓五十九錢先限三十八圓九十九錢と約五十丁方見聽の入電あり勞內氣配硬便にして中限四十二圓五十七錢先限は五六十丁下願の四十二圓見當を唱へられ居れり

仁川會頭問題

加來氏再選か

仁川商業會議所評議員改選は三十日執行され近く第一回評議員會を開催して役員選擧の事を行ふべきが問題の會頭及び副會頭は果して誰人が其選に入るべきか事情復雜容易に窺知を許さゞるものありと雖も其の最も有力なるは依然として加來榮太郎氏の再選の意志より爲して徹頭徹尾留任の呼び聲高く舊評議員辭職の其大部分を占め得れば新議員諸默し難く一旦辭任を表示せし初めの意志を貫徹すべしと做す者もあるが加來氏も遂に再び餘儀なく推さるゝに至るべしと觀測せらる如くにして民意は遂に新銘監の容認する處となり評議員の立場も亦自ら爲すべきを爲したる有意義に到達するを得べしとは大多數の意見なるが如し

森鑛株公募 決定

來城中の朝鮮森林鐵道會社發起人長谷川太郎吉氏は在京發起人津田殿雄氏並に吉田東拓理事等と諸種協議中の所一日京城發九州を經て歸東直ちに會社の創立事務を進むべし尙ほ同社株式の公募は之れをなさゞるべしとの意見もありしが結局一萬株乃至二萬株を朝鮮に於て市場に募集する事となりたり

金剛電鐵公募

馬越恭平古市公威久米民之助氏等を發起人總代とする資本金五百萬圓の金剛山電氣鐵道は鐵原化川間の六十三哩の電鐵を敷設し化川の水電にて動力を供給せんとするものなるが總株數中一萬株を割いて一日より七日まで公募

仁川新市如何

仁川米豆取引所十二月限の新甫は前日まで七八十錢下鞘見當なりしも一日休會中大阪中限寄付

▲尙ほ朝鮮には鮮銀本店釜山元山仁川の四支店にて取扱ふべし

にして釜山より四百八十哩旅客荷物の取扱ひをなす由

御用掛任命 左の通

朝鮮總督府御用掛を命ぜられたり
陸軍少將 村田信乃
海軍大佐 東條明次

淨法寺師團長

平康附近の高原に於て目下實施中の野砲兵大隊の實彈戰闘射擊視察中なりし淨法寺師團長は坂井吉澤兩副官を隨へ二日夜歸城す

財界閑話

昨秋の戰捷記念日に何の豫告もなく一齊休業して市民を驚かした京城組合銀行は十月一日にも廣告一つせず休んでゐる▲昨秋の戰捷記念は何でも前日あたりに休業を決議しその日の朝の新聞に廣告したやうだが此の一日の休みは銀行の前に小さく揭示したのみで萬事濟ませたと思つてゐるのであらうか▲始政記念日は朝鮮にとつて目出度い日に相違はない然し年に休み會祭日とは意味が違ふ諸子は云ふに及ばず休むのだから銀行も休むる譯ではない然し銀行が休むならば休むやうと云ふ事を知らし相當周知の方法をとらねばならない此日も休むのは不親切極まるではないか▲休みと思つて急な旅行なしやうと思つてゐた者はどうするか、支拂ひの準備を銀行預金に依つてゐたものはどうするか、銀行業者がそれらに氣のつかぬ程放心してゐるならば總督府の理財當局は今後のために少し氣を附けさしたらよからう▲京城組合銀行の不親切が相當休業の周知の方法をとつてゐるのは當然とは目へなくだけの理由を擧げてるから▲東拓の松平君は將棊にかけては二段近い實力を有してゐるらしい▲恐らく京城紳士間のさし手の中で子爵に相對し得るものはあるまいとの事である▲唯の從來京城では殆んど知らないのであつたも近來局長諸君に子爵が手合せを云ふ事になり馬場君等によつて子の手腕も分つて來やう

亥角知事著期

新任全南道知事亥角仲藏氏は一日夜釜山著二日朝來城すべしとの電報あり

羅紗の好況

羅紗の賣氣は依然活潑なるより當口の良きものは相場も堅保合を呈せるが何分在品潤澤ならざる折柄とて時期の進むに連れ市價は益々强硬となり前週來一段の高値を現はすに至り市場は活氣を帶び居れるも一時旺盛なりし先物賣買は殆ど沈靜となりて昨今行はれ居るは全部需要的の賣買なる由（大阪）

◎鐵道院新驛開業 十月一日より鐵道院飯塚伊藤間に一般鐵道院簡易驛の營業開始の旨京鐵局に通知あり新設停車場は伊藤士居

人事消息

▲西田師團參謀長 平壤に出張中の處三十日歸城
▲小澤部氏（師團軍醫部附軍醫） 時派遣隊第二大隊衛生狀況視察の爲め五泊の豫定を以て三日出張
▲上田一恕氏（師團勤務部附步兵大尉） 簡閱點呼視察中の處一日歸城
▲芝田師團經理部長 三十日平壤より歸城
▲原田軍副官 二日平康演習地より歸城
▲高市砲兵少佐（師團兵器部長） 平壤に出張中の處三十日歸城
▲宮崎信路氏（師團勤務部附步兵少佐） 簡閱點呼執行官として出張中十一日歸城の豫定
▲小泉策太郎氏（代議士） 一日朝入城天眞樓へ
▲阿部秀太郎氏（大連鮮銀支店長） 卅日夜退城北行
▲泉末治氏（安東鮮銀支店長） 同上
▲榊原健氏（營口鮮銀支店長） 同上
▲後藤登丸氏（吉林鮮銀支店長） 同上
▲上田直秀氏（鮮銀元山支店長） 同卅日退城
▲石井清治氏（會寧鮮銀出張所長） 同上
▲中村正一大佐（滿鐵運輸部囑託） 一日朝釜山上陸十時急行にて北行せり（釜山特電）

其の日その日

◇ダヌンチオ君のフユーメ占領は、遂に伊國の輿論を動かし、內閣の改造を叫ばしめ、列强亦敢て反對の意を示さず。之れ即ち國際聯盟も、腕力の前には遂に其要を爲さゞるの一證なせしものに非ずや、聯盟の前途益々疑はる、に至らむ。

◇露國通の某君曰く『露人のヌーボー式は何人も知るも、日本人は未だ眞の露人性を知らず。露人は元來屠畜的の人種にして、面倒なる事は大嫌ひ也、例へば御馳走をなすも、口に入る、許りに仕てやらね喜ばず、料理して食するよりも、寧ろ寢ころんで生芋を嚙ぢるが好きなるに非ずんば、西伯利の仕事は成功せず』と。

◇物價騰貴は、最早珍らしき事に非ざるが如く感ずるも、日常品の暴騰は實にお話しにならず。酒醬油等の突飛なる暴昇は、益々生活難の叫びをし高からしむべし。內地に於ける我國民思想の動搖は如何、其根底の生活不安より發したるは、疑ふ處に非ず、吾人は朝鮮に於ても、速かに物價調節の斷行を切望して止まざる也。

◇公設市場を興せとは、吾人平生の希望也。何時も內地の物價高に引ずられつゝある朝鮮の物價を調節せんとせば、何を措いても公設市場の設置は、小資商人側に異論あるべし、然れども今日の狀態は小資商人多過の觀無くんば非ず。右顧左眄躊躇逡巡は今日の事に非ず、若し夫れ食糧不足等の月並ならば、何故一般市民有志よりの募金を以て、斷乎として其の設立を計畫せざるや、一日遲ければ社會生活の不安を一日丈け多からしむべし。

法人登記公告

一、名稱 安仲坊金融組合 一、事務所 京畿道振威郡梧城面安仲里無番地 一、目的 （一）組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付スルコト（二）組合員ノ爲ニ預リ金ヲ爲スコト（三）組合員ノ委託ニ依リ其ノ生產シタル物ノ販賣ヲ爲スコト（四）組合員ノ爲ニ共同購入ヲ爲スコト又ハ其ノ生產物ヲ倉庫ニ保管シ之ニ對シ倉荷證券ヲ發行スルコト（五）組合員ニ非サル者ニシテ組合ニ加入ノ豫約ヲ爲シタル者ニ出資ノ爲ニ貸付ヲ爲スコト（六）組合員ト同一ノ家ニ在ル者ノ爲ニ貸付ヲ爲スコト（七）公共團體又ハ營利ヲ目的トセザル法人若クハ朝鮮殖產銀行ノ業務ノ代理ヲ爲スコト（八）地方金融ノ調節ニ關シ朝鮮總督ノ命令アリタル業務ヲ營ムコト 一、區域 京畿道振威郡梧城面、青北面、浦升面 一、設立許可ノ年月日 大正八年九月拾參日 一、出資一口ノ金額 金拾圓 一、出資ノ總口數 壹百貳拾六口 一、出資第一回拂込金額 壹口ニ付金貳圓 一、出資拂込ノ方法 第二回以後ノ拂込ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム 一、理事及監事ノ氏名住所 [illegible]
右事項大正八年九月貳拾七日登記
京城地方法院平澤出張所

公告

一日出公立小學校外大小學校御影奉安所新築工事外二件右來ル十月四日午前十一時入札希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ

京城學校組合

告愛媛縣人

記
一、十月三日午後六時於明月館支店
一、會費金四圓當日御持參ノ事
一、申込ハ當日正午迄ニ市內太平通二丁目朝鮮化學製藥株式會社へ（電話一參一六番）
右ハ原產局長西村保吉君及朝鮮銀行大阪通り秋山縣人會ヲ開催致候ニ付御出席相成度候

愛媛縣人會幹事

自動車

開校第一番ノ本校卒業生ハ悉ク運轉手技術ノ資格ヲ得テ…
東京京橋 東京自動車學校
大阪市市岡町 大阪自動車學校

左官建築材料

セメント 石灰
左官材料一式
各種色土砂
各種布海苔莇
左官川東京鏝
各種塗用品
建築材料種々
火山灰硅藻土
各種耐火煉瓦
各種煉瓦土管瓦
防水劑 パドロー タンタルス
鑄工製鐵所用品
小野田セメント會社 平壤支社製 石灰特約販賣
京城瓦斯電氣株式會社製 瓦斯コークス コールタール 特約販賣
九州火山灰合資會社 代理店
京城旭町一丁目 電話長九八四番 振替六〇八六番
卸商 戶澤商店

金剛山電氣鐵道株式會社株式募集

至急廣告

▲資本金 五百萬圓
▲公募資本 壹百萬圓
▲壹株ノ金額 五拾圓
▲募集株數 貳萬株
朝鮮總督府八朱補給付
第一回拂込金 五圓
▲申込證據金 一株ニ付 貳圓五拾錢
▲募入決定方法（申込超過ノ場合ハ發起人ニ於テ適宜決定ス）
▲申込期限 十月一日ヨリ十月七日マデ
▲申込單位 拾株
▲申込用紙ハ御申越次第即時郵送ス 市內ハ即時店員御訪問可致候

公債株式現物問屋
株式會社 增田ビルブローカ銀行代理店
株式會社 丸一商店
京城永樂町二丁目五十八番 電話一四五九番 一九四八番

新荷着
岩田鞄店
京城本町二丁目（電話九五四番）

米國グドリツチ會社製
自働車及自働自轉車用
タイヤ及チユーブ各時
在庫豐富、價格低廉、取扱親切
御注文次第何時ニテモ迅速積出
仁川海岸町 ベンネツト商會

日鮮人 文官普通 判任見習 雇員巡查
試驗問題集
法制研究會編 發行所 京城本町 ウツボ
菊半形紙數二百二十頁◆定價金五十錢◆送料四錢
本書は朝鮮に於ける日鮮人の各官廳の應試者の爲めに大正元年以降最近に至る迄の前記登用試驗問題を蒐集し多數の應試者をして試驗の概況及程度を知らしめ必勝の幸福を與へんと欲して編纂せるもの應試者諸氏の此書を通讀して其適否を研究せらるれば得る所尠少にあらざるべしと信ず
賣捌元 京城太平通 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

東京山本製天印イルキ石鹸
大阪海上火災保險株式會社
ちやつ足袋
蓬萊生命保險相互會社
代理店 京城本町三丁目
商 今藤富國太郎商店 電話三〇八・一九〇二番

今日から獵期！

國境横斷旅行（三）

鍾城から惠山鎭へ

川一つ向ふの間島は土の色までが異ふ

茂山郡最初の一夜！

筏夫が怖れる豆滿江中の難處　憲兵駐在所に一夜の宿を借る

茂山にて　特派員　伊藤韓堂

雲頭山嶺の五國城には小松と萩の繁みを見るのみだが一歩山を踰へて人家に近づくに隨ひ

大きな桑の樹

が方々に鬱乎たる姿を現はして居る。人家の多い村に行つても近年に植ゑたらしい桑樹は一本も見當らないが數十年を經た大木はチヨイ／＼と見える。村の人は『郡廳で買うて呉れる桑苗は酷寒で枯れて了うから養蠶は致しません』といふ。數十年若くは數百年來酷寒と鬪つて繁茂して居る桑もあることだから凍へて枯れぬ桑苗がありさうなものだ。午後二時、上水南と云ふ小さな村に著いて憲兵駐在所に

敬意を表する

と所長の淸水サンは今、水害後の隣接地道路視察の爲め新豐山に出掛ける所だといふので同行することにした。新豐山は此處から四里餘りであるが九折嶺と云ふ五百米突許りの山が折重なつた其の嶺を踰ゑて行くので此の道を辿るのは容易でなく、隨つて通行者は間島に渡つて捷徑を行くのである。兵士も隊をなして行かない以上、支那官憲も文句は言はぬ慣例があるので憲兵さんも、道府郡の官吏も此の捷徑をする、豆滿江の急流を渡つて間島に入ると農作物が非常に豐穰で、粟の實のいゝ事が專門家ならぬ記者の眼にも映つて來る。氣の爲か知らないが

土の色まで異

つて見ゆるタッタ二十四五間か三十間の小川一つ隔てただけで斯くも總てが異うものであらうか、など語りながら行く、九折嶺の對岸に出ると豆滿江は小さな丘一つの爲めに速度を以て廻り曲つて居る。淸水さんの管內では此處が一番の難處で流筏が頗る危險であるさうな。丘一つ掘鑿したならば廻り曲る必要もなく筏夫も危くないといふので會寧商津の木材商等が掘鑿すべく目下

營林廠に交渉

中であるさうだ　午後五時、新豐山に著いた。村は四十戸許りの寒村で、宿屋と云ふものが無いらしく、憲兵駐在所に一夜の宿を借る。所長の石井さんは今春騷擾の時、間島方面から危險な情報が日々到著するので、若い妻子もあるが爲めに不覺を取るやうな事があつてはと、下社地の所長等と共に家族を內地に還して了ひ、今は所員と二人所に鍋角生活をやつて居る。此の邊はもう茂山郡であつて記者は山越しして甲山郡に出る迄は、二十日餘り此の茂山郡の土を踏む譯で今日が其の最初の日であらうのだ。

米や味噌を小包で

同情すべき山奧の巡査生活

馴れるに從つて樂しみもあるが困るのは妻や子供の身の上

成川憲兵分隊に勤務して居た某將校は左の如く語る『此頃內地から續々警察官が來るので愈々憲兵の重荷は下りたといふものであるが、新來の警察官諸君が任に著く時の勞苦が身に引較べて思ひ遣られます、京城附近や鐵道沿線は未だ可いですが十里二十里と漸次

奧地に入

るに從つて夫れ／＼想像も及ばない辛い勤務に服さねばなりません、現に私の管內でありました成川郡の寧遠邊などでさへお話しても眞個と信じられないやうな事が澤山あります、交通不便な山の奧であるから物資の供給も意の如くにならず、精米の輸送が出來ないので米や味噌を

小包郵便

にして取寄せて居る、それで其米が如何かと云へば頗る粗惡なものでも口に入る迄には一升八十四五錢にも當るやうな高値の物となります、鮮人ばかりの山里だから如何程淋しくても內地人の顏などは目撃する事が出來ない、適々分隊へ公務の報告に出て來るのも年に一回か二回位で

山猿同樣

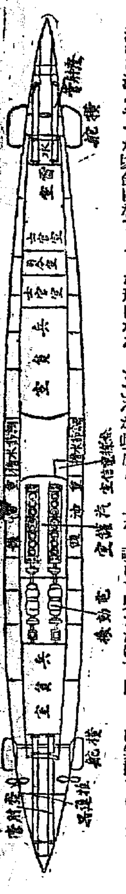
の生活です、夫れでも嚴重な軍紀の下に拘束されて居たので不平顏もせず忠實に勤務して居ましたが今度の官制改正で斯う云ふ連中は島から放たれたやうに喜んで居ます、其人達の述懷を聞くと十戸か二十戸の山奧の村落に赴任當時は隨分心細いと思つたが漸次部落民とも親しくなれば

附近を獵

つて雉子や山鳥を擊つて來ると鮮人が集まつて夫れを料理し殘りを持つて行くやうになり風呂も交替で沸かして後で自分等も浴するやうな譯で親密になると寧ろ宛然王者のやうな氣分のする事もあるがそれも却々半歲や一年では然うはならぬ。殊に一番困るのは妻子の身の上で、妻は多く寒痾病に罹る子供は學校に遣れず之にはほとく

當惑する

さうで、朝鮮の事情に能く精通せぬ新米の警察官が此難儀を繰返すかと思へば同情の念に堪へません』云々



潛水艦見たまゝ（三）

艦の內部を見るの興味

甲板の上に現はれて居る珍らしい裝置は大略既記の通りであるが普通の軍艦と同じ武裝としては十珊半の大砲が一門艦首の方に備へられて居た位のものである。そこで敵艦からの發見を避て海中に潛るやうな場合になれば

二本のマストを倒し

尙場合に依れば潛望鏡も引込めて了ふ。さうなれば甲板の上には司令塔と大砲だけが殘るやうなもので殆んどノッペラボーな形になる。ところが此のノツペラボーなる形に却つて凄味があり痛快味がある。今度は艦の內部であるが內部は外部を覗るよりも一段の興味がある

甲板から艦內に通ず

る昇降口は都合三ツあつて一は士官室、一は管制室一は補器室に通じて居る。入口は三尺直徑位の丸い穴になつて居て小さい梯子が垂直に下つて居る。上から覗いて見ただけでも女などは容易に昇降が出來さうに見ゑる。此の昇降口の

梯子を

二間以上も降りたかと思ふと室內には電氣が點つて居る。そして鼻を突くやうな狹苦しい各室が三尺幅位の通路を挾んで電燈に照し出されて居る。此の光景を一目見たゞけでも宛然動物の腸の中にでも潛り込んだやうで何だか人間らしい氣持ちはしない。

秋晴れの始政記念祭

官民多數參拜

莊嚴の氣溢る

一點の雲影なく地にそよとの風もない秋晴の小春日和、櫻の病葉黄に落つる南山の麓の京城神社にては恒例により始政紀念祭を施行した。此日神苑はまだきから淸潔に掃浄められて神殿はいと麗しく

神々しく

莊飾を施され一切の準備は疾くに整ふた。本府を登りつめた大鳥居の附近には風船屋や玩具店が三四軒路傍に店を据ゑて參拜の婦人客や子供衆の一團を待構へて居る、八時九時頃にはゾロ／＼と洋裝の人和服の人だら／＼坂を登り行く人の群の中に

獵人子供

の數多かりしも折柄の祭事に相應しい、十月一日午前十時といふ豫定の時刻に至るや谷村齋主は齋官四名伶人四名を隨へて蕭々と神殿に奉仕して祭事を開始する。齋藤總督代理水野總監代理守屋秘書官、李完用伯、赤池務局長、金谷府尹を始め各高等官

內鮮氏子

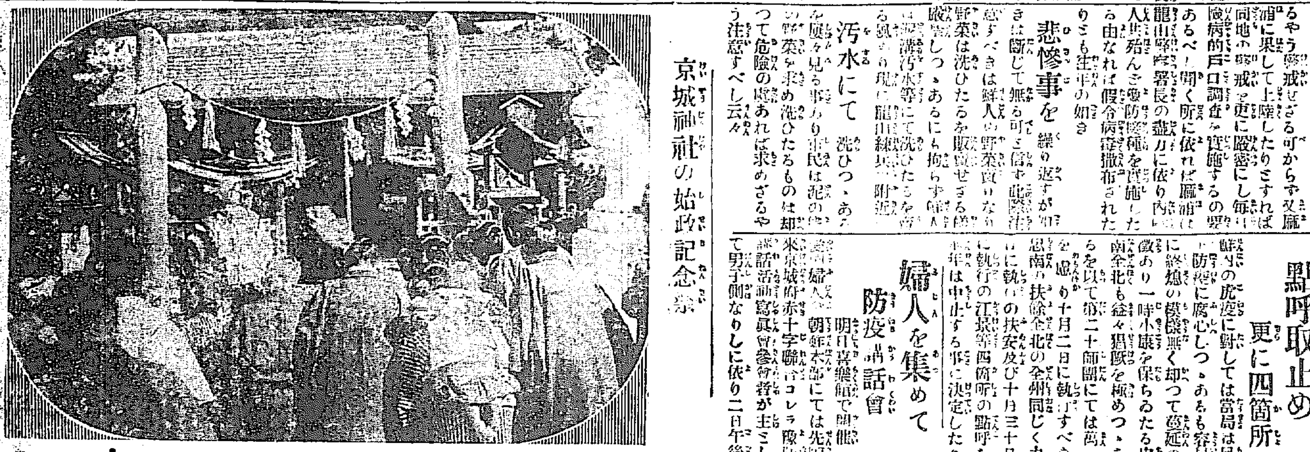
總代民間有志等一同が右手の假幄舍及左手の椅子に著床すると嚴かな修祓の行事あり奏樂裡に齋主以下殿內に參進著座し次いで谷村齋主は奧殿內に進み寄りて恭しく御扉を開き神前の御扉を奉仕し伶人の奏樂裡に

白酒醇酒

供米其他海の幸、山の幸、種々の生產物の幸々しく盛れる神饌を獻じ終れば谷村齋主は更に終りの祝詞を奉り、總督政務總監代理守屋秘書官立ちて恭しく玉串を捧げ李完用伯赤池局長以下順次に幣帛を奉獻し終れば、再び

奏樂裡に

幣帛及び神饌を撤し齋主昇殿して閉扉を奉仕し午前十一時式を終る。庭前に並居る參拜の男女は一齊に額き拍手した。日は燦々と照して永久の平和と今日の佳き日を壽ぐやうに。



京城神社の始政記念祭

龍山元町の虎疫は眞正と決定す

漢江沿岸の警戒を要す

患者は麻浦に一泊した？

昨夕刊紙上取敢ず報道したる龍山元町の疑似虎疫患者は臓器檢鏡の結果一日午前九時愈々眞正虎疫と決定せり該患者は京畿道楊州郡青山面宮村里二百四十番地の筏乘夫朴道甫（三）と呼ぶ鮮人にして去る二十二日

漣川を發

し途中獨岸浦津楊浦等にて岩佐楊花津等に於て筏上に泊し二十八日麻浦に著し上陸したる形跡あり二十九日漣川より乘したる筏乘夫十一名と共に漢江を橫斷して龍山に來り元町三丁目百八十七番地感雜成方に一泊せるのみ

賃金受取

の爲め居殘り十一名は漢江を下りて漣川に歸りたる後に病になりたるものなり其筋にては直ちに消毒を施し發病場所の交通を五日間遮斷したり右に付き防疫委員の一人は語る今や京城は虎疫の

重圍に陷

りたりと云ふも不可なく危險は刻一刻迫りつゝあるやうなる舊龍山の虎疫が愈々眞正と決定すれば漢江の漁撈其他遊泳は嚴禁するの必要あるべく京龍市民は此際念の爲め漢江にて漁獲されたる鰻鯉鯰鮒等

川魚をば

絶對に食せざるやう警戒せざる可からず又麻浦に果して上陸したりとすれば同地の警戒を更に嚴密にし每戶傳染病的戶口調査を實施するの要あるべし聞く所に依れば麻浦は龍山警察署長の盡力に依り內地人共殆んど豫防接種を實施したる由なれば假令病毒撒布されたりとも往年の如き

悲慘事を

繰り返すが如きは斷じて無かる可きと信ず此際注意すべきは鮮人の野菜賣りなり野菜は洗ひたるを販賣せざる樣嚴談しつゝあるにも拘らず鮮人は溝渠汚水等にて洗ひたるを賣る風あり現に龍山練兵場附近

汚水にて

洗ひつゝあるを屢々見る事あり市民は此の野菜を求め洗ひたるものは却つて危險の虞あれば求めざるやう注意すべし云々

酒も醬油も値上げ

今日から實行

一日から又酒と醬油が値上になつた尤も朝鮮で出來る淸酒は各釀造組合協議の上去月二十五日より値上を實行して居るから今度値上したのは內地から來る

淸酒

である、値上の程度は四斗五升入一樽六圓、半樽二斗入り三圓、瓶詰一箱五圓で小賣は一升二十錢方高くなり極上一圓八十錢より一圓二三十錢となつた

醬油

は全部一割二分上げとなつたから改正値段は四斗入大樽が二十三圓、小樽が六圓七十錢位、一升の小賣値が八十錢になつた譯である、理由は何方も原料資金賃金の暴騰……。

點呼取止め

更に四箇所

鮮內の虎疫に對しては當局は目下防疫に腐心しつゝあるも容易に終熄の模樣無く却つて蔓延の徵あり一時小康を保ちゐたる忠南全北も益々猖獗を極めつゝあるを以て第二十師團にては萬一を慮り十月二日に執行すべき忠南の扶餘全北の全州同じく九日に執行の扶安及び十月三十日に執行の江景等四箇所の點呼を中止する事に決定したり

婦人を集めて防疫講話會

明日喜樂館で開催

朝鮮本部にては先日來京城府赤十字聯合コレラ豫防講話會を開催したるも參拜者が主として男子側なりしに依り二日午後一時より本町喜樂館に於て一般家庭の主婦並に藝妓酌婦の女を招きコレラ豫防に關する通俗講話大活動寫眞會を開催し此際婦人間にコレラ豫防上の注意を喚起する事となり婦人有志の參會を歡迎する由プログラム左の如し

▲開會（十月二日午後一時）▲豫防講話（幻燈映寫）▲奏樂（京樂師樂隊）▲活動寫眞各種▲閉會（午後四時）

庭球界の人々（二）

三井物產京城支店員　大前周吉君（三井）

京城庭球界の先輩株であるが、年は若いのである。明治四十年頃仁川小學校時代から屢々鐵道の矢野君と組んで京城に遠征した、丁度京城庭球界の搖籃時代なので滿都を震撼させたものだ、其後は本間泉二君など組んで仁川の覇者としてよく京城に攻め登り鐵道軍を惱ましたものである。大正元年鐵道に入つてからは永田君と組んで盛に鐵道庭球界の重鎭として活躍してゐる、君は明治廿四年兵庫縣拜保郡、岩見村に生れ、商業學校に入つたが中途退學した、テニスは少年時代から始めたものであるが器用な人だけに上達も早く朝鮮で仕上た技倆としては全く驚くべきものがある、嗜好は園藝、琵琶、玉突、かるた等で往くとして住ならざるはない。（現住所は旭町一の一三三）

記念繪端書

忽ち賣切れ

十月一日午前八時から賣出した始政記念繪葉書は一般が疾くから待構へて居た事とて賣出し始めから郵便局の窓口には買人の山を築いて殆んど奪ひ合の光景を呈し京城郵便局の豫定部數の三千二百は午前九時までに全部賣切れとなつて了つた、今度の記念繪葉書の印刷高は總數三萬部で之れを全道に配布したのだから當部數を賣盡した以上は更に追加は不能の由である京城郵便局などの如きは印刷局の汚損引替準備品三百部中から約二百部程漸く分與して貰つたが夫も忽ち賣盡して了ひ謝絕に忙殺されて居た

馬賊邦人を慘殺して

三千圓强奪

物騷極まる撫順

三十日午後三時半頃撫順千金寨鄰撫順勤務事務所員京都大分縣宇佐郡宅地源太（二九）は常役夫本莊千代太（三〇）と共に南坑採掘部への支拂金三千圓を會計課より受取り本莊には時計を持たせて歸還の途中銃器を持てる六七名の馬賊に襲はれ宅地は劍銃にて頭部を打たれて即死し本莊は其場に時計を投げ捨て幸ひ附近の崖下電車路に飛び降りて危く脫れたり賊は其の儘逃走したるが急報に依り警務署にては直ちに手配りを爲し嚴重搜查中なり（撫順特電）

又候閉店す

鍾路の鮮商

始政記念日に際し不逞鮮人輩の脅迫を受けたるものと見ゆ鍾路通を中心とする鮮人商賈は又候門戶を閉鎖したるが前日來の狀況に鑑み工藤京畿道知事は諭告を發して其愚を誡め警察官憲又戶每に注意をしたる爲正午には全部開店するに至れり知事の諭告は頑迷の流言を流布したるものは此際嚴重に處分すべしと

無料豫防接種

龍山署にては二十九日より更に無料豫防接種を實施しつゝあるが其の日割は左の如し廿九日及び十月六日龍山倶樂部三十日十月七日

至急廣告

近頃不正輩拙者の名義を以て約束手形或は借金證書等に及不動產處分に關する委任狀又は賣渡證書等を僞造し詐欺取財の手段を弄しつゝ居る事を承知致居候に就ては內外諸彥は右御承知被下度此段及廣告候也

大正八年九月　日

京城府寬勳洞百九十八番地　閔庭植

米國の巨船建造

四日間で大西洋横斷計畫

米國ワシントン船舶局の發表する處に依れば目下米國にて二大巨船を建造中にて右姉妹艦は何れも長さ一千呎、速力三十浬にて大西洋を橫斷すべしと建造の曉は紐育より英國プリマースまで四日間の航程を以て最近英の倫敦タイムスは報ぜり現在世界最大巨船の稱あるはキューナード會社所有アツクイタニア長さ八百六十八呎速力二十四浬ホワイトスター會社所有オリンピック長さ八百五十二呎速力二十三浬獨逸ベターランド長さ九百五呎速力二十四浬等なるも目下建造中の該汽船に比すれば速力に於ても長さに於ても到底及ばず該汽船は一般乘客用に供用すべし

運動界

滿倶軍晴の京城入

素晴しい元氣

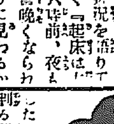
滿洲野球界の覇者滿洲倶樂部一行は九月廿九日夜大連を出發し東都遠征の壯途に上り、十月一日午前六時五十分龍山驛に到著した、記者は一行を京義線新義驛に出迎へ一行中の井上氏に刺を通ずると「ヤア、御迎へは御苦勞です、一行は十四人で本社の庶務課長山田潤二さんが引率者ですが都合で二日朝京城に著く筈です、今回戰は又和田君が病氣なので失敗しました慶應との試合に一回戰は和田遊撃のミスで惜しい一點を與へ二回戰は和田君一點を取りしましたが其他は攻擊と云ひ外野の守備と云ひ餘り堅實だとも云へませんでした今迄遠征して來たチームの中では昨年の法政大學が一番恐ろしかつたやうです一高の內村君が來た時も面白い試合でした昨年は大每、朝鮮から御招きを受け本年は鐵道の飛田君から御招きがあつたが今度の遠征は全く我々の希望に出たもので六日には是非京城から御招き豫定です東京滯在中は中野老鐵山氏が萬事御世話下さる筈です何んでも精養軒に朝野の運動家を招待して我々を紹介される事が聞いてゐます岸君の腕は徐々冴へて來ました片瀨投手も立派なもので荻野君（元の鐵道選手）の早大當時よりはコントロールが有りますよアハ……大門君の當り方は頗る獰猛で慶應との試合では網町から川を越して芝から麻布へ安打をすると壯語して居るます兎も角ベストを盡して戰ふ決心です」

龍山驛に著くと溝端鐵道の中野運動部長以下選手其他が出迎へて居る、『ヤアー、ヤアー』と暫くは賑かな挨拶が續いたが一行は間もなく驛前の太陽館に入り午前中休養し午後から鐵道軍を相手に第一回戰を試みた猶一行は明二日二回戰を擧行し三日は釜山に於いて全釜山軍と試合する豫定である一行の陣容は左の如し

投　捕　一　二　三　遊　右　中　左

林田氏逝く

元京城居留民團役員林田良七郎氏は豫て病氣に罹り朴木縣北九州共同事務所に於て治療中の處、九日夜終に逝去せり



紅頭

伊藤秘書官總督の近況を語りて曰く『起床は午前六時前、夜も十時頃晩くなられる事もあるが外部からは閑さうに見ゑるかも知れないが閑どころではない仲々落著いて緩々食事をする暇もない位忙しく身體が續くと思ふ程だ▲夫でも總督は頗る元氣で二六時ニコ／＼して居られる、安心下サイ▲京城神社の始政記念祭の式典に赤池務局長は病後の身を押して列席しシカも幄舍にも入らず▲秋陽のジリ／＼照りつける中に帽子を脫つて小一時間も恭しく臨床して居た敬虔の態度に參拜者の數人が感歎したネと隣い丁居た』

演藝案內

喜樂館　中町一丁目　電話九七番　有樂部　九月廿六日より特別興行　休暇日の出來事　快活劇ドーグラスの義俠　五卷

元和三勇士　六卷　日活京都派新大作

浪花館　京城明治町　電話二六〇　十月一日より毎日午後六時開演

壽館　本町二丁目　電話一〇五〇　十一日より

大正館　櫻井町　電話八七三　大活劇渦中の人　全六卷　猿飛佐助漫遊記

お乳の出るクスリ

澤山出る奇藥メンスを今回發見しました

軍手卸賣

洋鐵　瓦斯鐵管　鐵板　L

福田又京城支店

時計金貴屬指輪眼鏡商

京城本町二丁目　三浦天龍堂

內科　小兒科　入院隨意　施療す　古城憲治　打田義芳

白神洋行支店

白神洋行　仁川本町

洋鐵鋼、諸機械　工具附屬品一切

金物商

運勢

各種硝子　小野玻璃器製造所　京城林町百六十二番地

連絡船上陸客

二名（二等九〇名）築地千次郎、伊林岡さく、同きくの、大塚百右衞門、野一、原田芳三郎、伊東れき、野口廣之、きわよ、喜井浦須久、若宮末彥、小旗中典悅、金子碇五郎、勝浦久五郎、崔介、末永政吉、大高新治、外人二名（三）…は一日午前十一時發釜山直通列車にて北行したるが一行中には…エフスキー大佐は三十日來釜せし…將軍夫人を迎へて大連旅館に一…（釜山特電）

傳染病

府內西四軒町…▲永樂町二丁目八十六番地宮井…▲（三七）…櫻井町二丁目…五番地…（二）…二十九日島ナスにて…

天氣　一時晴曇

第五版

大連市制調査會に就て

第四回關東廳市制調査委員會は二十六日午前十時關東廳に於て開催されたるが這回の會合は改正市制未だ成らざるや依て來明改選は現行法に據り行ふ旨の披露の爲めなりしが如し即ち前三回に亘る協議の結果市制革新上多くの參考資料を得たるを以て之れを參酌し當局の所謂理想的植民地市制なるものを制定せん意嚮なるが如きも市制調査會成立の時既に大明改選に餘日幾干もなく到底此短日間に根本的市制の改正を爲す事は勿論不可能且又近き將來に新市制の制定を見るべきに依り今期改選に際し急遽姑息的一部改正を試むる如きは却つて蛇足の嫌ひありとし寧ろ現行法の儘にて改選を行ひ然る上徐ろに根本的市制の研究をなすべき意嚮なり之れに對し調査委員中何等異論を見ず月並的會合交換の上無事閉會せり之に對し一部論者は說を爲して曰く『當局は市制問題に就て何等の用意も考慮も拂ひ居らず殆ど迂活に過ごし居りし處市會議員改選期近づき來るに從ひ一般市民間に民意に基づく市制革新の聲漸く熾烈ならんとするを觀取し市議選明迄漸く二旬に過ぎざる際に至り急遽市制調査機關の設置を見る之れ一種の民論緩和策にあらざるなきか果して眞劍なる民意に本づく市制の實現を見るを得べきや』と大いに疑念を懷けるが如し市制調査會の餘り市議改選期に切迫して設置されたる此の疑念を挿むの餘地全く無しとは云ふ能はざるものあるが如し、さあれ縱ひ當局が他動的にもせよ民論に耳を傾くるの已むべからざるを悟りしを時運の賜として喜ぶと共に一部論者の杞憂をして杞憂に終らしむべく此際（內容的）眞の自治的市制の實現を切望す（大連）

鐵道沿線に於る農作物狀況

米檢所主事　平岡宇太郎氏談

鐵道沿線に見る作況は概して不良にして旱害の甚だしきものありしを想はしむるものあれど一步奥地に入れば頗る優良の出來榮に寧ろ意外の感を抱かしむるものあり之旱害を受けし地方の比較的打擊甚だしかりしに反し

用水潤澤の地

にありては例年になき豐作を得たるが爲めに其の懸隔甚だしきものあり京城管內に於ては此の旱魃被害を蒙つて慘澹たる狀態にあるものは先づ平澤平野にして其他の箇所は一帶に優良なるが如く安城の奥地に入れば更に平年と何等の差異なき出來榮なるを思はしむ本年は旱害地方を除く外は概して成熟早く之を例年に比すれば二週間を早熟せる處あり之旱害地は發育阻害せられて通例よりも遲るるを常とすれ共灌漑の便ある地方にありては照り込み充分なりしものありしが爲め稻の

發育に申分なく

從つて開花結實を早めたるに依るものなり新米出廻りは昨年九月中には僅に中白米九叺に過ぎざりしもの本年は今日迄既に水原八十一叺平澤四十叺の檢查を了し月末迄には尚ほ多數に上るべき見込みなり出穀の早きは水原の九月十二日等なるが之等新米の出來榮に就て見れば前記の如く照り込み充分なりしが爲め灌漑に不自由なかりし地方の作物は近年になき品質の優良なるものを出だせり唯今後氣遣はるゝは早冷の襲來にして幸ひに降霜の時期遲るれば本年の稻作は決して悲觀すべきものにあらざるべし大豆の收穫は近年稀なる慘狀にあるは事實にして

先づ四五割作

と見るを至當とすべく作況に就て見るに長湍漣川方面には晩種の出來榮比較的優良にして早種の被害は最も甚だしきが如し坡州郡に在りては全く之れに反し早種優良にして晩種却つて被害多きが如き現象を來せるも一般に晩稻のミツタ種の如きは頗る優良なるものなるが如し今日迄新大豆の檢查を行ひたるは高浪浦十二叺汶山六叺位にして昨年九月中に八十七叺を出だせるに比すれば收穫も亦遲れたるを見るべし

地方在米は尚ほ豐富なるが如く今日既に各市場に新米の出廻りを見つゝあるに拘はらず農家は

旱魃減收見越

に恐れて手放さず貯米を爲し居るものと見るを得べし米價の如き地方に在りては突飛に相違あるも仁川の如きは現在小賣白米一升五十一錢を唱へ居るに鳥山市場に於ては一等白米四十四錢の安値を唱へ尤も其の品質は多少の相違はあるべきも地方に依りて斯の如き米價の相違を生ぜるは奇觀なり之れ未だ在米潤澤なるを信じて商人の買占に出掛くる者なきに依り此の安値を持續せるものにして一般商人の手が出でて都市よりも騰貴するに至るべし斯の如き處に及べば米價は却つて[illegible]其の例を有せり

西伯利の避難民

川中の洲に寢起をしてゐる

寒氣は迫る衣食に苦める彼等は如何して零下何十度と云ふ酷寒に堪へるか

暑いと思ふたも束の間浦鹽の此頃は日一日と冷氣が加はつて空は高く晴れ氣は澄みコレラも漸々終熄する模樣で非常に生活仕易くなつたが

吾々の歡び

に引換へ寒氣が近くと共に憂ひの眉を顰めてゐるのは住むに家ない西伯利地方からの避難民であるロザノフ極東總督は當地に赴任以來すべての問題に對し武斷的なビシ／＼した調子で無暗と命令を頻發し

取締を嚴重

にし家屋問題に付いても多少の効果があつたやうであるが理由もなしに住民を追立てる譯に行くまいから住宅に大した餘裕が出來さうもない、食なく衣なく住なしと云ふ避難民達は來るべき嚴寒を何して過すであらうか[illegible]アムール灣に面した朝鮮町の裏手に

簡單な本造

家屋を四五十戶を今や盛んに建築してゐるが果して之を彼等避難民に與へるのか何うかは疑問である、記者は一日一番川に居る高架棧方面から來た避難民の群を觀に行つた、彼等は夏頃から當地に雜つて來てゐるので遂此の頃までは一番川の川中の洲の上の

草や木の間

に寢起してゐたさうであるが日に／＼寒氣が近付いて來るので慌てゝ家の建築に着手してゐる見渡す限りの洲の彼方此方に日本の掘立小屋のやうなものが點々と見えてゐる、住むべき人々は

女も男も汗

まみれになつて板を打つたり壁を塗つたりしてゐた、何れも善良な百姓らしい容貌である、米國赤十字の方から多少の援助を與へて居るやうだが十分な事ではあるまい此麼薄つぺらな壁や屋根やが果して零下何十度と云ふ寒氣に堪ね得らるゝであらうか一朝此川に大水が流れると何うなるであらう……思へば彼等の前途は暗憺たるものである

製油業活況

滿洲製油業の狀況は茲兩三年來非常の活氣を呈し從つて曾て見ざる利潤を生じ過去十年間の苦難に報いられて今後益々有望なる且つ斯業の發展を促進すべき勢を來しつゝあり其製品は殆ど全部は外國に輸出さるゝ物にて歐洲戰亂前は其大部分を歐洲に輸出したりしも戰亂中は主として米國に向け輸出し戰後即ち現時の如きは戰時中よりも現今は歐米相半し一方獨墺同盟諸國油に殆ど絕對に近き迄の需要力の恢復未だ行はれず講和は成立せしも批准の未だ結了せざるものあるも國民の信用と生活之を來し居りて其需要熱甚だしきものある歐米に於ても尚ほ獨露の商を開始せず未だ該國への輸出を見ざるも批准終了の上は莫大なる需要あるべしと豫期さる

鮮人金融機關

在滿朝鮮人の農業從事者は從來多くは支那人の資金を仰ぎ利益の大半を失ひつゝありしが斯くては鮮人生活上に於ける不安の基なりと極めて低利なる資金を附し收穫物の販賣等に關する便宜を與ふべく奉天に一金融機關設立の必要を認めつゝあるは既報の如くなるが目下果々打合中なりしが者は東京に於て該計畫を立て居ることにて過日吉林方面に向ひたる村上唯司氏の歸京と共に具體的の進行を見るに至るべし

大連新設會社

大小六十二社　總資八千萬圓

本年一月より現在に至る間に大連に於て新設されし會社數は大小合せ實に六十二社を算し此外既設會社の增資を行ひしもの相當多數あり之等の公稱資本額は約八千數百萬圓を算し四分の一拂込として二千百萬圓の資金が放資されある譯なり尚目下創立計畫中に屬するものも相當ある模樣にて今後續々製造さるべき狀況にあり

奉鐵間複線工事

奉鐵間複線工事は土工事及び橋梁築造既に終了し引續きバラス敷を行ふ豫定なるも米國に註文せる橋桁材の到着遲延した爲め機關車の運轉に供すべきレール敷設又遲れ目下之れが到着のみを待望しつゝある狀態に在り該材料愈到着せば猶豫なくバラス散布枕木敷置レール敷設等に從事すべきを以て遲くとも十月中に竣成を告げ十一月一日には運轉開始の運びとなるべしと

人口漸減

粗製濫造か

一年に人口が七十萬づゝ加はる狹い國土に此の澤山の人數を收容して而も食糧供給を如何にするかと謂ふ事は日本の朝野を惱ました問題で國民の對外活路を求めようと謂ふ叫びは到る處に聞かされて日本の人口增加は世界に例の無い程顯著なるものとなつて居るが統計家や醫學界の一派からは增加どころか却つて漸減の洵に憂ふ可き傾向が現はれて居ると謂ふ事である此の程內閣統計局の

統計

官二階堂氏は國民生活を脅威する物價騰貴は早婚よりも晩婚に、果ては結婚數を漸減して減少の原因をなす由々敷現象もあると警告したが更に同局の統計官補森數樹氏は詳細な數字や統計を基礎として第一に日本では出產率と死亡率が一致せず出產率の增加よりも死亡率の增加の方が統計的に速度を速めて居るから生れる事は澤山生れても死ぬ方も澤山で差引すると一年には

死亡

する者が多い事になる第二番目に（一）初生兒（二）青年（三）女子の死亡率の增加は顯著で世界列國何れの國にも無い位であると謂ふのである此問題に就て小兒專門として熱心研究を續けて居る醫學士木村正行氏は語つて『國民全體の出產率は戰前の獨逸が世界で一番多く千人に四十八人平均であつたが我邦は卅三人乃至四人位の所である併し乍ら出產率の多少だけでは人口の增減は輕率に判斷出來ぬ英獨の如きは佛國や我邦に較べ遙かに

出產

率は低いが國民保健狀態が向上してゐるので死亡率も減少して居るから人口は必ずしも著しく低いといふ悲觀すべき傾向にはなつて居らぬ而已か存在して居る國民は健康狀態が優れて活動精力に滿ちて居る人間から云つても我邦は矢張粗製濫造の傾きは免れず病弱の國民の多いのは洵に寒心すべきである而も單に死亡率の漸增よりも憂ふべきは初生兒又は未發育期の者の著しく多い事である

初生

兒の死亡率が生活程度の粗惡の下層勞働者階級にのみ多いのならば兎も角我邦では上流にも多い由來日本人は母乳で子供を育てるのだから初生兒の死亡率は僅少である可き筈であるが結婚の不注意生活の窮迫から[illegible]大なる惡影響を及ぼしたのである更に血氣旺んの青年殊に都會に出て遊學中の學生の死亡の增加は恐く可きで大抵は結核である斯くの如く初生兒は漸次減少し更に

青年

を亡ぼすことの多い國家の前途は洵に憂ふ可きで國民が相互に注意すべき事柄である尚ほ結婚後の女子の死亡率は世界一番に多いが之は妻として家庭に入つてから日本の女子が精神的物質的に如何に虐げられて居るかが解る婦人問題等も斯うした意味から痛切に叫ばれなくてはならぬ母體が斯くの如く虐待せられて居るから生れた子供の弱病は當然の事で即ち初生兒の死亡率が增加する譯であるも兎も角人が增加して困ると謂ふ事は人間の粗製濫造の結果は遂に人口減少の悲しむ可き結果に到達するのである』云々

伊達騷動

小金井芦洲講演

第十七席

國照諫言の上書

封を披いて見ると大奉書に謹んで認めてある

謹而奉言上候

一、近來御側役の人々御身を勸め就中常に淫酒を專らと致し奉り或時は不淨の遊里に御供仕り候趣當家中一般の風評と相成り甚だ嘆かはしく存じ奉り候疾くより御諫め申上げんとは存じ奉り居り候へ共君の思召しも計り兼ね差控へ居り候處御所業日に／＼亂れさせらるゝを見聞き止むを得ず諫言奉り候、何卒遊里に御通ひの儀御止りの程偏に存じ奉り候

御座候、其外唯今まで行ひ來り候ことは凡て名聞を好み我慢を擧ぐることを專らと致し一つとして君家の爲めに致候儀無之候、長く是れに重職を授け置かば此後如何なる大事を御家に惹起さんも計り難く存候、早速四十八家の內か御一門の內より出向きの人物名出だされ御役被仰付候こと可然奉存候

一、中興の御先祖正宗殿、瑞鳳殿御馬前に功名有之候者と度新規御召抱への相成候者と孰れが重く候哉、如何に君公の御意に適はせられ候共斯る儀をお側近く召出され家柄の者と同列をなさしめ諸士の面目を失はせ候こと甚だ以て殘念至極に奉存候、此の儀差置かれ候へば家中諸士一統の怨みと相成り向後如何やうなる變事出來致さんも測り難く、彼の者に早速永の御暇下し置かれたく、且た佐藤平吉を失ひ妻子を追放に處し給へる君の非道原田甲斐の仁心なき申分を取計らひ候ことも皆原田甲斐の讒言にて彼等が手足となつて働き居候こと不届き至極に存じ候へば嚴重に仰せ付られ度存候

一、君御幼年の御身より日夜文武を勵み給ひ[illegible]高かりしに斯く惡人原に乘ぜられ、一時にもせよ御行跡の亂れ候こと天魔の魅入らせ給ひけるか、誠に歎かはしく[illegible]君の怒りを蒙らせ[illegible]

一、渡邊兵庫、遠山勘解由、石當數馬、横山基太夫此者共は譜代の臣下にして大切なる御側役を勤め居候者故御酒興の外に餘り遊里通ひなど仰出され候時は御諫申上ぐ可き役柄なるに却つて唆かし奉り遊里へ御案內申上候儀は言語道斷の不忠者に御座候

一、御一門伊達兵部少輔殿は衆々君の御亂行を知りながら一度の御意見も仕らざる儀不審の至りに御座候尚は原田甲斐儀總奉行職の身分として江戶表政治向き總じて司る役向きにてありながら是亦曾て一度の御諫言をも申上げず誠る事全く忠節なる家來の致し方とは存じ候はず、且つ過日佐藤平吉横死に際し、妻子を放に相成り候砌甲斐儀は表に仁義を飾り密に妻子共に手當を致し却つて君の非を世間に宣布させ候致し方奇怪至極に

御座候、其他一々申上げ候へば…（以下略）

亘三平藤原國照　血判　恐惶謹言頓首百拜

[illegible]

十月二日

（舊）八月十日　金曜日　▲つちのへいぬ（西北）▲六白▲大安▲鬼宿▲たひら

▼六白▲前後を顧慮すべき日也

▼七赤▲吉事のある日なれど短氣を起さば折角の吉運を逸せん

▼八白▲目上の事にて苦勞する事あるべきも柔順なれば萬事吉

▼九紫▲荷且にも一行の跡の行あるべからず殊に病氣注意の事

▼一白▲變化のある日注意して交際上及び金錢上に注意すべし

▼二黑▲表面は盛に見ゆれども其の實思ひし程の利益なき日也

▼三碧▲苦勞すれば其る程後日に至りて効果の現はるゝ日なり

▼四綠▲心配も可成りあれども丈夫に持ちて萎縮すべき日なり

▼五黃▲上運にして名利共に有りなる日されど品行を愼むべし

○春川分隊長轉任　江原道春川憲兵分隊長郡司觀三氏は今回西伯利派遣軍に沿黑龍州憲兵隊副官を命ぜられ九月二十六日春川發自動車で家族同伴京城に向ひたり（春川）

○春川虎疫豫防注射　春川慈惠病院內に於て去る九月二十五日より同二十七日迄三日間每日午前八時半より同十時迄虎列拉豫防注射を施行したるが其外有料者も種々ある筈（春川）

○群山水校卒業式　群山公立簡易水產學校にては九月二十八日午後一時より第四回生徒卒業式を擧行したり（群山）

○古庄試補民情視察　總督府古庄試補は南鮮各地の民情視察として出張中なるが九月二十八日午後七時十三分鳥致院方面より大田驛着の列車にて來田し中川郡廳に投宿し同二十九日大田郡に至りたるも折柄高津郡守は儒城方面に出張中なりしため田中庶務主任の案內にて大田山に於ける民情視察をなし午後二時十五分大田發列車にて湖南線方面に向け出發したり（大田）

朝鮮總督府遞信局　購買組合指定店　和洋紙販賣　京日代理部

商況

株式

東京現株　至急電報

銘柄	▲印騰貴 拂込	△印下落 一日中値
鮮銀	一〇〇・〇〇	▲二六四、〇〇
同新	七五・〇〇	▲二三七、〇〇
京電	二〇・〇〇	……
東拓	五〇・〇〇	▲二二一、九〇
同新	一二・五〇	……
殖銀	五〇・〇〇	一〇二、〇〇

東京株式　至急電報

銘柄	一日前場大引	前電比較
東株	四七二、〇〇	三三、九〇高
同新	四五二、〇〇	三七、〇〇高
滿鐵	一九九、九〇	六、七〇高
一新	一九〇、七〇	一一、三〇高
二新	一六四、五〇	一九、四〇高

大阪株式　至急電報

銘柄	一日前場寄付 中限	先限
大株	四四六、〇〇	四四五、六〇
同新	四二五、九〇	四三二、九〇
日郵	二八六、〇〇	二八八、四〇
同新	一六二、九〇	一六四、九〇
商船	一八八、四〇	一八七、九〇
同新	一六〇、〇〇	一六〇、五〇
鐘紡	……	四二三、五〇
同新	……	四〇四、九〇
東紡	三〇二、九〇	三〇四、八〇
東糖	一八二、一〇	一八九、五〇
堂米	……	一九八、九〇
上取	八一、九〇	……

京城現株　標準値段

銘柄	▲印騰貴 拂込額	△印下落 時價
仁取	二五・〇〇	一五三、五〇
朝郵	二五・〇〇	四二、〇〇
電興	二五・〇〇	一九、五〇
皮革	五〇・〇〇	二六、〇〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇
朝紡	一二・五〇	三一、五〇
朝紙	一二・五〇	△三五、五〇
商銀	五〇・〇〇	五八、〇〇
同新	一二・五〇	一八、〇〇
滿毛	一二・五〇	六三、〇〇
滿糖	一七・五〇	▲四八、〇〇
朝煙	三〇・〇〇	三一、五〇
輕鐵	五〇・〇〇	七[illegible]
鮮土	一二・五〇	二二、〇〇
東亞	一二・五〇	四四、五〇
藥貴	一二・五〇	三六、〇〇
仁倉	一二・五〇	一五、五〇
製粉	一二・五〇	一九、〇〇
朝日	一二・五〇	一五、五〇
朝綿	二五・〇〇	二二、五〇

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
朝鮮紡織	三二、二〇	一〇〇
南滿製糖	四八、〇〇	二〇〇
殖產銀行	一〇五、〇〇	一五〇
滿洲製粉	六五、〇〇	五〇
朝鮮銀行	一六三、〇〇	五〇
同新	一三五、〇〇	五〇
朝鮮製紙	三五、五〇	五〇
東洋拓殖	一一八、〇〇	二〇
同新	八二、〇〇	一〇〇
仁川取引	一五三、五〇	一〇〇
東亞新	四四、五〇	一〇〇

上取再爆發か

出目前に迫れるを感ぜらる然も右は大株大新及東株東新を中心とする事元よりにして可成り大幅の奔騰を呈せるものと一般に期待せられつゝあるが元來が人氣によりて斯かる形勢を現出するものなれば其行詰りも早かるべく即ち大天井打ち後の反動の危險も共に伴うて接近しつゝある譯にしても相場は兩極端に趨るものと見ざるべからざる次第なるが之れが程度を豫め測定することは非常に困難にして只此の潮勢に乘ぜんとするものは運任せと云ふの外なし

鮮銀株擡頭

鮮銀株は既記の如く舊株二百六十二圓新二百三十五圓の入電以來新株は四十圓處を唱へられ舊株二百六十三圓新株二百卅五圓にて各五十枚宛の手合ありたり

滿糖益々上伸

南滿製糖株は內地の五十圓唱へを傳へて益々上伸し昨日の高値四十七圓に對し本日は八圓五十錢迄の手合せあり平均値四十八圓となれり

東京の大受渡

東京株式市場九月限の受渡高は枚數六十七萬八百七十株此の代金八千二百四十八萬四百五十圓一株平均値段百二十二圓九十五錢にして之を前月に比すれば株數に於て十萬千六百七十株を代金に於て千三百三十六萬二千百六十圓を增加し平均値段は一圓五十四錢方騰貴せり

北濱だより

大株五百圓相場の實現を必然視する人氣が益々濃厚となつて出合頭の市場關係者の誰も彼もが『儲りまつか』の交歡辭を連發する▲半程左樣に相場が高ければ儲かるものと極めて居るらしいものの知らず識らずに買人氣に偏寄るのは避け難い處であつて今の場合は又之が大なる强味となつて相場は矢鱈に伸びるばかり▲併し此の强味が一轉して弱點を爆露した場合に於ける反動は又可成りに激しいに相違なく『儲りまつか』の裏に買方死屍累々の慘況も豫想するに難くない▲が何を云ふても豫想派の人が隨分苦息吐の有樣だから問題にならん▲只注意すべきは市場のドコかに警戒の空氣が漂つて居るのでこれが全然取除かれて愈々萬人强氣とならねば上げ相場の足は止まらぬと云ひ／＼いつの間にやら己れ渦中に投じて居る點に氣付かない事で▲醉はないと云ひつゝ醉ふの例は世間にイクラでもある▲先づ取引所株が特に强味を持つて居る此際値嵩の高い雜株から繫いで掛つて取引所株に離平を掛ける某大頭が矢張り最後の勝利者として終るのではないか知らん

諸株利廻り（下）

金利騰貴と逆行

米株の五朱八厘、濱株の三朱四厘、名古屋株の二朱七厘は共に投機熱の反面を說明するもの之を解せらるべし一時極端なる悲觀を浴せられたる船株の見直しは郵船の造船計畫に買はれ[illegible]となり、石川島造船、浦賀船渠等造船關係の株は之れに準じて相當に買はれたるが、浦賀の如く海運省の指定工場となりて註文の平均が大へ得る者は比較的着實なる放資物なりと見られるべし[illegible]

東京毛織は一時次期減配說にて一割以上の利廻りを維持し居たるも今期に減配なしとの說と製鐵所拂下說とにて買はれ九朱臺に落ちたり人造肥料の七朱七厘、電鐵の九朱九厘、久原の五錢二厘、石油の一割四厘は比較的好利廻りの方にして火災保險、水力株等に至りては五六朱より二三朱の薄利廻りを示し中には四分の一朱臺に陷ちたるものもあり其の他瓦斯工の一割帝麻の一割一分等は好利廻りにして、且つ其の實績に徵して割安なりといひ得べし、又麥酒株の如く收益の激增し來れる者は其の限りにあらざるも製粉株の四五朱利廻りの如きは些か熱が手傳ひ居れりと見て大過なかるべし

日露戰後狂熱の絕頂は市中金利三錢三厘の最高を以つて遂ひに破壞的の大恐慌を招致したり、當年の金利は未だ日露戰後の最高を凌ぐこと遠きも其の步調は日露戰後に於けると同じく株金利と共に株價の雁行しつゝあるは頗る注目に値するものあり（東京）

熱狂の程度

株界の現況は漸次平調を失して熱狂の分子を擴げ來れる事は市場關係者の等しく之を認むる處なるが、從つて十月相場の一段高は到底避け難きところにして多少の不安を感じ乍らも尚益々買人氣に傾きつゝあるが此の調子を以て進まば市場は正に一大熱狂相場の[illegible]

新市大上鞘

東株數六十七萬八百七十株代金八千二百四十八萬四百五十圓にて受渡しを了へたる東京市場は前途一段の熱狂高を演ずべく豫想され居たるが果然今朝の新市は前電に比し東株三十三圓九十錢新三十七圓の大上鞘に生れ將さに五百圓を衝かんとする概を示し滿鐵亦六圓七十錢高一新十一圓三十錢二新十九圓四十錢高と空前の高値を現はせり

米況

東京期米特電

●一日前場　當限寄付　四十一圓二十六錢
中限寄付　三十八圓九十一錢
日後場

寄付　三八、七四
高値　……
安値　……
止め　……

大阪期米特電

●一日前場　當限寄付　四十一圓三十九錢
中限寄付　三十九圓五十八錢
日後場

寄付　三八、九三
高値　三九、〇〇
安値　三八、八〇
止め　……

神戶期米特電

●一日前場
寄付　三八、七〇
高値　……
安値　……
止め　……
日後場

下關期米特電

●一日前場（晴）

	當限	中限	先限
寄付	四〇、五〇	三九、六〇	三八、八〇
高値	四〇、九〇	三九、八〇	……
安値	四〇、八五	三九、五三	……
止め	四〇、九〇	三九、八一	……

仁川期米

新甫內氣配

明二日發會すべき新甫十一月限は新米の出盛り時期にあるを以つて[illegible]が爲め一般人氣は常旺盛の傾向を示し其の內氣配は七八十丁の下鞘[illegible]十一月限は買方有力者の手揃ひ丈けに折柄大阪今新市の發會は當限不明中三十九錢先三十一錢[illegible]

京城正米市場

昨午前中高氣配を告げし當正米市場は午後一段好勢となり今朝上玄米は四十二圓四十錢の高値を唱へ若干手合せ行はれたる模樣[illegible]

染料依然手堅し

染料は獨逸品の輸入懸念に斯界一般[illegible]

京城岡崎町　精麥　福岡精麥所　電話長二四六

麥粉稍々見直す

穀類輸入稅の免除と正業の氣配を動機に[illegible]人筋の雜氣投げを喚び市中の人氣を一層惡化せしめしが[illegible]此一兩日來人氣稍々見直し來れる[illegible]

支那粟行聞へ

支那粟は此兩三日來滅切氣配を高め昨午前中は海城現物の十七圓二三十錢を唱へらるゝに至りしが昨來の現物商內は殆ど皆無の姿なり[illegible]昨午後は十一月中渡し營口物十六圓五十錢にて出來せりといへば前記十七圓二三十錢は事實に於て進み居たる場所にして今午前中は商內無かりしも海城現物共に十七圓といへは動かぬ處なるべし

鮮白躍進す

鮮白は玄米の上向きと買惜みに見越し買も加はへ今朝は上米四十七圓五十錢と一躍四十錢方騰せり

白米又復値上げ

原料更に引締め模樣にて白米市中卸値又二三十錢方上向き今朝は一等米五十圓五六十錢を唱へらるゝに至りしより現狀維持の困難を告げ更に少なくとも又復一錢方の値上げを行ふ事となれり

[illegible]の態度更に强硬を加へ一時は品急ぎの風情なりしも買入物を[illegible]惜みて容易に手放さゞる氣配なれば上物は一層品物減らしとなり氣配も自づと引締まり步調となりし見當は一俵稍上米とすれば四十二圓以上にて並物としても四十一圓五十錢を唱へらるゝに至れるが買入の見送りに午前中は商內皆無なりしより果して邦人の眞の相場が賣り難きも强いて申まんとせば昨午前中より二三十錢高の處なるべし

コレラ豫防の緊急問題は

健胃力＝殺菌力……

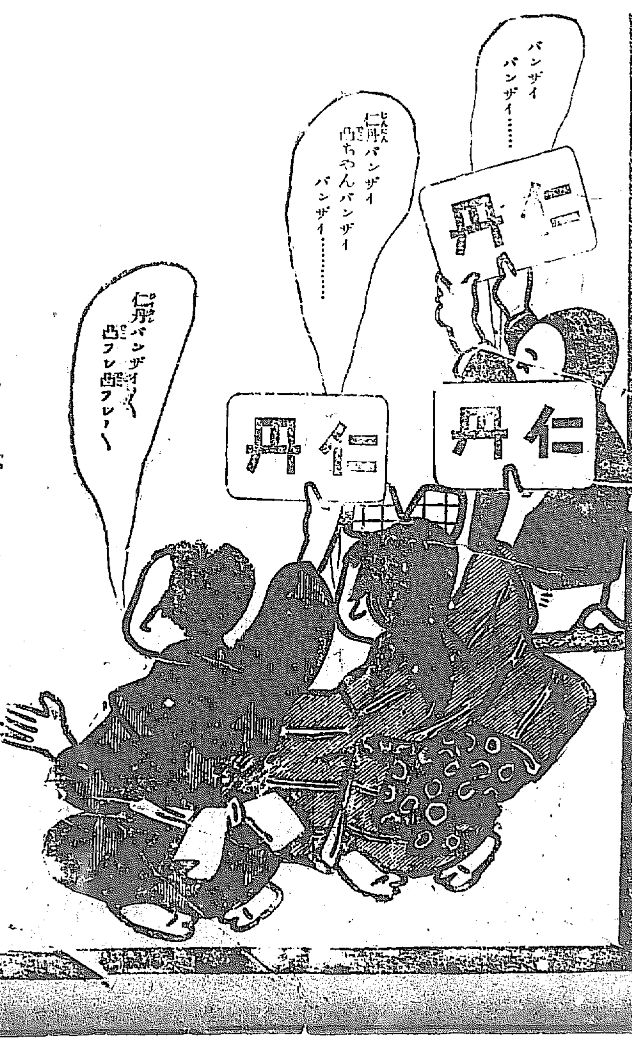
絶大の・仁丹めして

益々胃腸强健を計られよ

仁丹は眞に虎疫豫防の必須靈藥

仁丹特長

惡疫に仁丹＝殺菌力絶大
食後に仁丹＝胃腸强健
食傷に仁丹＝消化毒けし
炎暑に仁丹＝凉味萬斛
人込に仁丹＝心身爽快



金言

心焉にあらざれば視れども見ねず聽けども聞ねず食へどもその味を知らず

（大學）

[illegible]勞資關係上[illegible]資本家は[illegible]に於て勞働者[illegible]八時間[illegible]先だちに之を採用せるは資本家側が過八時間制を採用して其効果を擧[illegible]其の不能を力說せるに[illegible]けつゝあるものあり商業會議所[illegible]閣制の採用によつて我生產高が[illegible]べし唯八時間制の採用により[illegible]

有望なる支那食料工業
原料無盡藏

支那に於ける工業は原料が豐富[illegible]遲々たる有樣であるが是れは主として保守退嬰を喜ぶ其國民性の然らしむる所で同國に於ける工業の九分通は家內工業に屬し、工場設備によるものは極めて僅少である、然れば廣大なる國土を保有し無限の原料を包藏しながらも自國民の需要をすら十分充たす能はず況んや他國に向つて工業製品を輸出するが如きは全く望み難い現狀にある、而して斯くの如き現代にありながら更に

工業の發展 に官民共に意を拂はないのは政治的動亂相繼ぎ產業方針の確乎たる樹立を見る能はざる結果に相違ないが斯く空しく富源を荒野に委棄して顧みざるは頗る支那自身に取つても遺憾の事に思はる、のである、支那に於ける工業原料品の年々產額は調査不十分にて明瞭でないが民國四年の調査に基いて食糧品原料の分を擧ぐると左の如くである

米	二〇〇四、九六一、一〇九石
麥	一二〇七、七二九、七三六
豆	八九三、八一、四〇一
高粱	一〇〇、五一、六、八八五
落花生	二、一七、三二六、一三四
馬鈴薯	六、〇七、五〇八、八六一

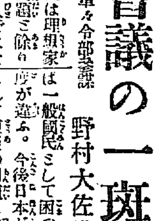
而して是れ等の原料を使用して生產せらる食糧に關係ある工業の種類を擧ぐると油類が豆油、麻油、花生油、菜種油、桐油、揚子油を合して一年生產額七十八億二千四百七十二萬四千九百三十五斤に達し此額一億千九百十二萬二千七百九十二元である、酒類は同國工業中最も古き時代より

殷盛を極め たので黄酒、燒酒、梁子酒等を合せて釀額は明瞭でないが約九億二千五百二十六萬四千二百元の價格に達すると豫想されて居る砂糖は三億八千三百九十五萬八千六百十七斤の產額にて此額三千四百八十七萬千六百四十五元に達する煙草は[illegible]稱するもの水煙と呼ばるものに水を入れた煙管を用ひて吸ふ水菸と稱するものと粉末にしたものを鼻腔に塗附して香を嗅ぐ鼻菸と稱するもの等を主として居る最後に澱粉類は同國

食料工業中 最も主要なるもので主として江蘇、直隸、山東[illegible]省に生產せらる、豆粉、江西湖南兩省に主として產出せらる粉[illegible]五原[illegible]二十五斤此[illegible]高二千六百十三[illegible]豐富なるを掲て、加へ支那に於ける食用[illegible]業たるの結果一年相當豐[illegible]生產額を示して居るのである如何にせん此生產を綜合すべき組織が完備されて居ないために國家的に達觀して同國の工業を消極的のものとならしめて居るのである(某消息通談)[illegible]藏な[illegible]しき發展を無議し得べしと思は[illegible]なれば恐らく自醒[illegible]で原料は無[illegible]時機に遭遇[illegible]

巴里會議の一斑(九)
海軍々令部參謀 野村大佐講演

要するにウイルソン氏は理想家ではあるが然し實際問題と餘りかけ離れた議論をする人ではない、ウイルソン氏が世界の問題は皆自分の理想通りになるものと最初から期待して居た樣に見做し彼れ是れ論ずる人があつたならば、夫れは其の人の考へ方が適當でなかつたと云はなければならぬ、埃及人は巴里に來て獨立運動をしたがウイルソン氏は夫れに同意せず講和條約に於て英吉利は埃及を保護國とし佛蘭西はモロッコを保護國とすることになつたのである。一方亞米利加自身の態度は何うかと云ふに目下の亞米政府は墨西哥に對して穩和なる政策を取つて居る樣であるが亞米利加合衆國と墨西哥とは土地が接續して居るの殊に墨西哥北部に於ける諸事業に米人の投資して居る額は莫大なるもので從つて其の關係は頗る密接である。今後共和黨の時代にでもなつたならば非併土主義を唱へた亞米利加が存外思ひ切つたことをするかも知れぬけれども委任統治なるものは元來主義として文明國が後進の人民を指導してやることを目的とし利益を主眼としないもので之れも時代思潮として相當に考慮すべきことだと思ふ。巴里會議に於て日本は五大國の一に入れられたのであるが實際日本には夫れだけの國力が出來たのである、此の大戰の爲め歐洲諸國は總て甚だしく疲弊して居る、敵國側は固より聯合側に於ても佛蘭西の如きは專門家の意見を聞いて見ると此の狀態で財政上何うして算盤が立つだらうと憂慮して居る者がある、伊太利も同樣である日本でも近來物價が騰貴すると何とか彼とか不平の聲もあるが大戰に參加して居る歐洲諸國に比較したならば一般國民として困つて居る程度が違ふ。今後日本が大國の一として東亞の問題に就て最も有力なる發言權を有することは當然であると思ふ。(終)



生別死別
＝不許無斷興行＝
服部梘月

第十二 機密費

『恒川？誰か豫審廷に召喚してはゐないね？』

と三浦は斯う云つて精しい瞳孔を上げた。

『さうです、尤も事件の勃發より餘程以前に彼の店を退いてゐました。』

『ふむ、して見ると仍且僕の注意が行屆かなかつたんだね』

『それで其奴を取つちめたなら砥上氏に關する消息を得ることが出來ませうかと思はれます。』

『好い材料が上つた、急に一つ當つて見るが良い』

『ところが彼奴も尋常では打明けますまい。何とか近付いて懇意になる工夫はなからうかと考へてゐますので……』

『なアに譯はない、御馳走政略だ、恒田とか云つたッけね、彼の男が幾何かコンミッションの分配を受けてると一寸面倒だが其の時は又其の時さ、其邊の掛引は君の方寸にあるだらうからまア當つて見給へ、ところで徒手空拳では白兵戰も交へられまい』

三浦は一寸思案の後

『茲に僅かだが三十圓ある、差當りだけで遣かう、これだけでは眼覺しい活動も出來まい何處へ飛込んでからでも彈藥の缺乏を告げたら云つて寄こし給へ、機を逸せず補充するから』

『どうも恐れ入ります、併し斯ふ御心配に預りましては』

『[illegible]云ふのか、なアに何云へば僕が頼んだやうなのだ、夫れで君として公然に云ひ出せない機密費も要らうから、些しも遠慮は要らんよ』

『難有う御座います。就ては勿論御依賴を受けましても、若し成功しませんと……』

『何だ君ッ！勇氣の無い、今着手の初期で、加之今兒に新事實が上つて前途の光明が輝いてゐるではないか、乾度成功するに相違ない、精神一到何事か成らざらむやだ、けれども假令成功しなくとも遺憾は毫もない人力を盡して夫で出來なければ止むを得んぢやないか、兎角人間は自分の力が測らずして世の中の事を自分の意識の儘に仕やうとする勝手な考へを持つてゐる、それだから自分の意見通りにならんと、さア腹が立つ癇に障る、そこでだ、君と僕との能う限りを盡して夫で成功しなかつたら、少くとも君と僕だけは滿足しなければならん、假令砥上君の冤罪を雪ぐ事が出來なくとも。

けれども今度の事件なんか、確かに君の技倆を試すべき材料として、天が特に保留して置いたのかも知れん、僕は乾度其の成功を確信する。元來今度の事件なんか、そんなに面倒ぢやないんだけど、何分一度に何百人と云ふのだから、僕の方にも注意の行屆かなかつたところがあつた』

『乾度事實を明かにします、何卒御安心遊ばしますやう』

『うん、宜敷く賴む、聞けば砥上君も其後病氣と云ふではないか』

『さうですか、些とも存じませんでした、餘程お惡いでせうか』

『僕もどんな具合か其の程度は知らんが、あんな潔白な人だから、仍且冤罪を雪げんとて、劇く氣にしてそれで病氣を起したのか知れん』

『それなら猶の事一日も早く事實を明かにしなければなりません』

『切角君の盡力を願ふ』

『では之で失禮致します、お妨げを致しました』

『ぢや失敬！』

三浦判事は折柄來た青山行の電車に乘つた、井上刑事は三浦に別れ、頻りに何か考案を廻らしつゝお濠端を徒歩で下り、參謀本部前で電車を待合してゐる參謀肩章を飾つた大尉に危く打ッ突かる所であつた。

(年中無休刊)
定價 一ヶ月金[illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥川直次
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番二 振替京城三〇〇番

公設市場法制定 [illegible]一般公衆に對し生活必需品の範圍並に普及と小賣市場に對する食糧品の種類[illegible]

白木屋吳服店
新秋の御仕度は今!!
最新流行吳服、木綿、洋服、雜貨
御婚禮調度品、貴金屬食料品其他
御用命の節は『通信販賣部』宛御申聞被下度何品によらず專ら御便宜を旨とし御用相勤可申上候
東京日本橋

長篇講談
いつもれい 名人揃の十八番物を集めた

木下藤吉郎	岩見武勇傳 笹野名槍傳	幡隨院長兵衛	紀伊國屋文左衛門 五兵衛	諸國忍術の勇士
羽柴筑前守	荒木又右衛門 澁川伴五郎	小金井小次郎	天一坊	柳川庄八
豐臣秀吉	一休禪師 [illegible]	國定忠次	自來也	柳生旅日記
太閤	佐倉宗五郎 文珠九助	關東七人男	由井正雪	水戸黄門漫遊記
赤穗義士	怪談牡丹燈籠 佐賀の夜櫻	野晒悟三郎	鼠小僧次郎吉	三家三勇士
堀部安兵衛	寺名の梅ケ香	雷電爲右衛門	荒木二刀の譽	日本左衛門
田宮坊太郎	伊達騷動	桑平内	山中鹿之助	旗本五人男
復讐天下茶屋	加賀騷動	日蓮記	寛永三馬術	祐天吉松
加藤清正		大久保彦左衛門	塚原卜傳	以上四十五冊既刊
相馬誠忠録		鹽原多助		

おの待兼 46
音羽の瀧 因果小町 一龍齋貞山演 愈發賣
中判各冊 定價四十五錢 郵稅八錢
縮刷● 古市十八人斬
新刊● 仙石騷動
東京市本石町

報恩的特價大販賣
▲高等既製 冬 洋服類
◎諸物價ノ暴騰ハ尚天上不知文官制服廢止ノ秋ニ當リ弊店儀夙ニ多年各位ノ御引立ニ報ヒン爲特製高等既製品特價提供仕可候間何卒多少ニ不拘御用命御仰付被下度奉懇願候
世界ノ大勢將ニ經濟戰ニ移レリ
進ンデ經濟的物品ノ需用ニ！
◎市內ノ方ハ 電話(百〇五番) ニテ御注文次第直ニ持參致可候
◎地方ノ方ハ 郵便ハガキ 代金引換小包ニテ御送附可候 御申越ノ節ハ 八町以內迅速ニ詳細御回答申可候
◎寸法合ザル時ハ弊店製品ニ限リ實費ヲ以テ御体ニ合シ急場ノ御用ニモ辨シ得ベク職工ノ準備充分ニ候
尚一般新調品ノ御用ニモ應ジ[illegible]
舊龍山元町三丁目 電話(百〇五番) 振替口座二八一三
「コ」金子商店洋服部

朝鮮總督府遞信局 競爭入札 購買 一式紙類 二萬枚[illegible] 十月二十日ノ本府官報ニ在リ

鶉卵配達開始 京城本町一丁目五〇 守山鶉飼育所 電話五四二番

法人登記公告 [illegible] 大正八年九月貳拾七日登記 京城地方法院漣川出張所

京日案內

醫師 內科小兒科 [illegible]

釜山草梁 鐵道病院

御袴專門 仕立入念◎期日正確◎價格低廉 京城本町四 山崎袴店

弟子入用 十三歲ヨリ十七歲マデ 京城黄金町二丁目 電一〇一五番 金光堂金工部

毛皮なめし 並に仕立

女中至急入用

勤社員入用(外交員及集金人) [illegible]

ほねつぎ 明治町 柔術道場

轅行李 草鞄專門 但馬屋

千金恩給 江州屋本店

轉居と電話架設 六七參番 北村友一郎

帳場入用 京城新町 君の江

謹告
秋冷之候各位益々御清榮奉慶賀候陳者聯合會協議ノ上直揚實行ト同時ニ當組合ハ品質ノ向上ヲ計ル目的ヲ以テ組合ニ於テ左記ノ等級記號ヲ附シ直段一定致シ候間舊倍御愛顧之程奉願上候也

壹等品	特製	大樽廿三圓	小樽六圓七十錢
貳等品	松印	大樽廿一圓	小樽六圓二十錢
參等品	竹印	大樽十九圓	小樽五圓七十錢
四等品	梅印	大樽十七圓	小樽五圓二十錢

大正八年拾月一日
京城醬油釀造組合

京城醬油釀造組合
仁川醬油釀造組合
大田醬油釀造組合
群山醬油釀造組合
平壤醬油釀造組合
鎭南浦醬油釀造組合
元山醬油釀造組合
永登浦 大塚醬油釀造所
水原 水原釀油合資會社
江景 荒卷醬油釀造場

醬油値上廣告
謹啓秋冷の候各位益々御清榮の段奉慶賀候陳者其後引續き原料の騰貴は底止する處を知らず加ふるに容器工賃等又暴騰を告げ不得已拾月壹日より左記之通り値上實行仕候間何卒倍舊御引立の程奉懇願候
一大樽 一小樽 共 壹割貳步上げ
京城醬油釀造組合

最新刊
朝鮮語譯國語辭典 [illegible]
朝鮮大地圖 [illegible]
結婚期 [illegible]
京城本町一 大阪屋號

眞鍮品鑄造
鰈番。取手引落類其他何デモ御下命通リ迅速安價ニ出來マス
京城本町一丁目 金物商 佐野彥藏商店 眞鍮品鑄造工場

醇美清酒 金露
●到る處酒店雜貨店に販賣せり
發賣元 京城明治町二丁目 大塚合名會社京城支店 電話四〇一番 振貯京城五七〇
●滿鮮支店所在地 釜山、平壤、安東縣、大連

最上醬油 朝鮮仁川港 高杉醬油釀造場

カナエパッキング會社代理 京城南大門通二丁目 合資會社南方商店 電話長一六八九 一七五九 振替一九二三

瓦斯管

洋鐵、鋼材料 バルブ工具品類 鑛山用品 一般工業用品

精米業、麩糠、質屋業 朝鮮古郵券賣買 京城府本町四丁目 佐野仁作商店 電話一四九一番

材木商 城山組 下關市 電話長二〇九 振替下關五五一

確實は弊店の生命にして信條なれば取引御安心を乞ふ

英國の鐵道大同盟罷業
範圍益々擴大す
乘合自動車、電鐵、馬車等も

倫敦にては乘合自動車、街電氣鐵道及び停車場待合馬車等に於ける從業の同盟罷業宣言せられ此の罷業は益々擴大しつゝあり之に陸軍省は軍人の暇賜及び復員を停止し政府は市民に對して各種の食糧品を貯藏し置くべき旨を警告せるが尚必要の場合は武力を用ゆる事をも布告せらる一般に今回の大罷業は工夫及び運輸業者を加へたる例の三角同盟の再現を憂慮し不安の念に驅られつゝあり（倫敦電報）

石炭と瓦斯と食料
英國より緊急勅令發布せらる

鐵道從業員大罷業の結果石炭瓦斯及び食料に關する緊急命令發布せられたり（倫敦電報）

政府の手に運轉

三十日が鐵道罷業の最も重大なる時期なる可しと期待せらる政府の力にて鐵道は一部丈け運轉しつゝありと（倫敦電報）

石炭の積出停止

カーヂフよりの海外石炭積出しを停止せられたり（倫敦電報）

伊內閣總辭職か
大勢ダ氏に同情頗る盛んなり

ダヌンチオ氏に對する國民の同情は益々旺盛に向へりカデネ大將はアドリヤチック艦隊司令官の職を肯んぜずロトグルド陸軍大將はダヌンチオ氏を拒絶したるより政府は特別委員を又派遣せるがダヌンチオ氏は首相ニッチ氏の代表者と談判を拒絶し居れるを以て何等効果なかるべく結局對外軟弱の現內閣の總辭職を見るに至らざれば一般の不安を感じ居れば外の逸に爆發するに至らん（倫敦電報）

伊太利人激昂す
フユーメ問題と米下院最高會議

ウイルソン氏は下院に於て最高會議の決議に係るフユーメ問題に絶對に反對し置意を表したりと解せざる該提議は即ち伊太利の宗主權の下にフユーメを自由市となさしむる事港灣並にフユーメライバッハ鐵道を國際管理の下に國際化すること又伊太利は同地に接近せる地域內に城塞の建設を企圖せざる事是れなり而して最後の條件は當然伊太利人を激昂せしめたり（巴里電報）

ウイルソン氏消息

ウイルソン氏は夜分休息するを得ず僅に朝に至りて漸く睡眠し得る有樣にて米國各地の遊說其他の約束は總て取消されたり（紐育電報）

米國と講和批准

米國は遲くも十月中旬までに講和條約を批准すべしと（紐育電報）

過激線擴大す

過激派はプスコフ戰線に於いて益々攻勢を擴大しユーボルスキー等の諸町を攻略しつゝあり此の攻撃は遲延せられ指揮者數名處刑され第八十一第九十の兩聯隊は殆ど全滅したりと傳へらる然れども事實過激派の一個聯隊の實數は平均二百五十名なりといふ過激派は斯く一方に於て攻勢を執ると同時にエストニヤ戰線內に於て愈々猛烈なる旋轉運動を行ひつゝあり（倫敦電報）

辭任後の高野博士
是より勞働問題に沒頭すべし

此の間の懊惱と苦腦に疲れたる高野博士の面持ちは感慨無量に滿ち堅涙共に下るの概あり博士は今後の方針につき語る所あり「私は之れで全然前の私に立ち歸つたので依然として勞働組合の研究に向つて進む考へである今の勞働問題はどうしても勞働組合を土臺として立たなければならぬ私の進む途は一にあるのみである勿論前に內諾したる政府側委員の顧問も斷然拒絶して今後は國際勞働會議に何等關係も持たない事を言明する又友愛會に對する態度は矢張り元の如く研究的立場から同會の評議員として行くだけである（東京電報）

高野博士帝大教授辭任

高野博士は今回帝國大學教授辭任を申出でたり（東京特電）

桝本氏代表の諾否如何

勞働代表第三候補桝本卯平氏は未だ承諾の回答を爲さず（東京特電）

獨逸に一番乘り
大野漢堡領事…戰後の商戰場裡に向つて

漢堡領事として講和後の獨逸に一番乘りをする大野守衛氏夫妻は一日門司解纜の郵船若狹丸にて赴任の途に就けり氏は下關通過の際語つて曰く漢堡に於ける日本領事館は大戰と共に引揚げたる儘となり居れば身體さへ持つて行けば宜い譯である。着任してからの任務は重大で戰後の各國は何れも吾れ後れじと

商業戰に全力を

躍起することは云ふ迄もない從つて日本としても此の際背後に落ちない樣十分の努力を要するは勿論で余も亦全力を擧げて是れに盡す考へである獨逸は商戰にかけては武器の戰ひ以上の凄い腕を持つて居る上に戰後の國力恢復の爲め非常なる奮鬪努力を爲すことも想像に難くない若し彼れに商權を委ぬる事にもならば聯合國は戰爭に於て勝利を得たりと雖も

商戰に敗けては

何にもならぬことになる。併し獨逸はアルサス、ローレンを佛國に取り返され國內の石炭も佛國西白耳義に或る年限の間供給する義務を負はされた此の一事に依ても大なる打擊を蒙り苦痛とする所であらうと云々（下關特電）

皇室豫算委員

石原健三氏を委員長に其他倉富勇三郎氏以下五名皇室豫算委員仰付けらる（東京特電）

瓦斯値上可決

久しく行き惱み居りし東京市の瓦斯値上案は三十日市會にて五十錢値上を可決せり（東京特電）

滿鐵運賃改正

滿鐵運賃改正は愈々十一月十五日より實施に決せり（東京特電）

亥角全南道知事

亥角全羅南道知事は一日朝、宮木全羅南道知事と懷愛丸中にて事務の引繼ぎを終了して直ちに赴任せり（下關特電）

全羅南道知事亥角仲藏氏は一日釜山入港連絡船にて上陸同十一時發列車にて北行したり（釜山特電）

取引所初手合
四平街取引所

一日滿鐵沿線の四平街取引所開始せらる前場大豆三十七車、後場四車、高粱一車五萬圓にて後場大豆十六車、粟二車、二萬五千圓にて手合せありたり（四平街特電）

潛水艦
鎭海より福岡へ

戰利潛水艦右五及び零七兩艦は母艦夕霧に導かれ豫定の如く一日午後三時鎭海要港部に向ひたるが折柄港內に碇泊中なりし驅逐艦は是れを見送りて登舷禮を行ひたり（鎭海特電）

新來の兩道知事
時實忠南知事曰く、要は是から
飯尾平北知事曰く、風土と戰ふ

新任忠淸南道知事時實秋穗、同平安北道知事飯尾藤次郎の兩氏は相伴ふて一日午後七時五十分南大門着列車にて入城せり時實忠南道知事は瀟洒たる黑のモーニングに美髯を撫しつゝ『朝鮮は初ての經驗であつて何等の意見をも加ふる事は出來ぬ孰れは京城着の上總督政務總監とも親しく面接の上種々事務上の指揮を仰ぎ[illegible]君の意見も聞い[illegible]來着として[illegible]には朝鮮[illegible]を持つ事は[illegible]

所で

[illegible]て國分法務局[illegible]の總督府に多年[illegible]事務に精通せる[illegible]、本鍋、工藤の各課長[illegible]は昔の竹馬の友とし或は[illegible]の好誼を以て指導を惜まれざる事であらう又關水忠南新第三部長は最近迄同じ茨城縣に在つて顏馴染の間柄でもある今後は之等諸君の好意と助力に依て進み度いと思ふ打見た處

朝鮮の山野は

內地とは大いに其風物を異にして居るから牧民官として進むべき道も只一本調子吞では不可であらう新經驗の土地には又從來とは變つた考への下に臨機の施設も必要な事であつて之から大に勉強を要する次第である』と轉じて飯尾平北道知事を訪へば

氏は柔道二段の

ガッシリと引き締たる體格に和服姿も純朴氣に『西も東も判らぬ朝鮮に來て意見も抱負も何も無い之れから知識の注入を始めなければならぬ全くお恥かしい話だが自分の赴任する道廳の所在地さへ知らぬと云ふ仕末、朝鮮に知人と云へば遞信局の矢野事務官とは同鄕であり忠北道知事の張憲植氏は

學校時代からの

友人で久し振りで會へる譯でもある今度は一家族七人連れでやつて來たが氣候の良否などは意に介する事はないこれから大いに發展しようとする大國民は須らく如何なる

風土とも戰つて

身體を丈夫にして置かねば何事も出來ぬと思ふ身體を鍛へると云へば武道にも趣味を持つて居る然しそれは若い時の話さ』

向つて左時實忠淸南道知事（右）飯尾平北道知事

京畿道旱害民救濟方法

京畿道に於ては管內旱害民に對する救濟方法を樹立し國庫補助を仰ぐ關係上目下本府に上申中なりと云ふが其の大要を聞くに左の如し

水利事業 左記地點に水利組合を設置せしめ事業を急施せしむること之に對し直ちに踏査及び實測を本府に要望し若し踏査及び實測の關係上踏査及び實測不可能なる場合は技術員を出して測量の代りを負擔し工費設計せしめ組合設立認可の上は之に對し相當制限を高めて國庫補助を仰ぐこと

抱川郡永北面、水原郡日南面、安城面、富川郡篠（？）、金浦郡陽東面、陽西面北合組面積五千町步工費百八十一萬圓

道路工事（イ）二等道路漣川線區間四里工事費二萬五千六百五十圓を本年度に於て施行方本府に要求すること（ロ）左の道路改修工事に對し大正九年度に於て國庫に補助を仰ぎ勞銀を撒布すること

京城釜山間、京城木浦間、議政府平壤間、水原驛安山間、水原平澤間、京城楊平間、龍川長湍間此改修延長一萬五千百五十町概算工費二十二萬百八十二圓

輕鐵敷設 目下申請中に屬する水原驪州間輕便鐵道の敷設を此際急速に認可せられ又認可せられたる平澤忠州間輕鐵に就ても速かに工事に着手方本府に要望すること

開墾事業 本道內に於ける國有未墾地貸付中のものにして事業未着手のもの四十八件七千六百三十一町步あり依て之に對し此の速かに着手を命じ又目下事業進行中のもの百八件千九百三十四町步に對しても若くは事業を進行せしめ以て勞銀の撒布を圖ること

造林事業（イ）本道內五百七十一件三萬四千六百餘町步の國有林野貸付地は之れが植栽及び撫育の奬勵を行ふ（ロ）管內十六郡に亘り砂防工事を要する荒廢地あるを以て資本家に說き砂防工事を行はしむ然れども本事業は實施困難多きを以て之に對し工費の三分の一を國庫補助を申請す

小作料減免（イ）畓田共に平年に比し三割以上の減收見込の場合は小作料を徵收せざる事（ロ）前項以外の場合に於ては收穫量の減收程度に應じ小作料を減ぜしむること

輕便鐵道の未許可線

朝鮮の輕便鐵道は當局の奬勵と八朱の配當補給行はるゝにより各所に計畫を生み既に敷設を許可されたる會社組織の計畫中のもの多きが猶申請中にして未だ許可にならざるものは左の九線なりと

（一）京畿道安城より天安溫陽洪城保寧舒川等忠淸南道西部の要地を經由し群山の對岸に達する九十九哩

（二）沙里院より載寧海州其他黃海道西部の要地を連絡すべき九十二哩

（三）慶北金泉より尙州醴泉を經て安東に至る七十二哩三分

（四）京義線中和驛より遂安に至る四十八哩

（五）鎭南浦より廣梁灣官鹽製造所附近を經て龍岡溫泉に至る十七哩三分

（六）水原より龍仁利川を經て驪州に至る四十三哩

（七）平安北道孟中里より博川寧邊熙川を經て江界に達し滿浦鎭に接續すべき百五十八哩

（八）新義州より鴨綠江口學獅島に至る二十一哩

（九）津浦より鏡城に至る百餘哩

以上の外計畫中のもの二三ありと雖も是ら輕便鐵道は何れも未設の官線を中心とし輕鐵網を作るに至るべし

全北米收穫想
前年より七分九厘減

全羅北道廳の調査によれば本年同道の米收穫想は百三十八萬六千三百九十三石にして之れを前年の百五十萬五千零八十九石に比すれば十一萬八千六百九十六石乃ち七分九厘の減收となれり

朝郵增資期

朝鮮郵船會社にては一兩日中松崎專務東上原田會長と打合せの上中旬來下旬開會の重役會にて定時總會に於て前總會にて決定せし倍額增資の決行期を決定し並に未拂込金百五十萬圓の徵收時期をも附議する由

總督府視察團

總督府の補助に係る內地人教員及び普通學校の朝鮮人教員の內地視察團は十月下旬出發の豫定にて目下準備中にして滿洲方面視察は團員及び其幹部の人選決定を了へたるを以て十月上旬出發の豫定なるも滿洲方面の旅行の狀況に依り多少出發延期となるやも計られず而して團員は左の廿二名也

▲京城女子高等普通學校教諭崔顯▲京畿道書記兼道視學全武彥▲龍山公立尋常小學校長山本吉久▲汶山普通學校長佐土原雄助▲永同普通學校長桑原慶永▲忠淸南道書記原田佐一郎▲公州普通學校長湯本勵▲全羅北道書記守山五百足▲井邑普通學校長古賀新太郎▲群山尋常高等小學校長井澤宇三郎▲光州普通學校長山本哲太郎▲順天普通學校長織田德次郎▲晋州普通學校長山田民次郎▲釜山第二尋常小學校長山田與藏▲居昌普通學校長高橋隆彥▲慶尙北道書記辻右作▲長丸山浪吉▲平安南道書記關菊治▲永柔公立普通學校長岡本勝藏▲鎭南浦尋常高等小學校長藤木總吉▲新義州普通學校長橋口龍太郎▲原州普通學校長深萱四一

羽が生へて飛ぶ朝鮮米
東京府の廉價忽ち賣切れ

最近に朝鮮銀行及び拓殖局の斡旋に依つて東京府に移入せられたる朝鮮米は忽ちの內に賣切れとなつて引續き註文せられたる六千石一萬五千俵が此程入荷したので愈々去る九月二十八日から賣出される事となつた是に就て東京府廳內なる係り員を訪へば取切り無く掛つて來る

註文の電話

に一々應接しながら語つた『朝鮮米の人氣は大したものです賣出が二十八日からといふのにもう二十七日迄に申し込まれた數だけでも甚大なものでして此の調子で行つたならば此の一萬五千俵も忽ち品切れとなるでせう、まさか二三日內には賣切れにもなるまいが是が二三日內に賣切れる樣な事にでもなつたら私等の方では堪まりつこがありません、まだ〳〵註文は引續いてする積りですが後の分は如何程來るか今日の處では確然とはしませんが人々の噂に依りますと朝鮮米は內地の二等米に匹敵する相です

或は一等米

と同じだといふ人もありますが兎に角二等米と同等として一升六十二三錢の米が五十七八錢で喰へて而もそれが甘味を帶びて比較的に旨いといふのだから其の申込み人の多い事は大したもので上々の人氣です然し朝鮮人が困るだらうといふ人もありますが然し高い米を輸出して安い米を輸入するのが常道ですよ兎角案じるより生むが安いものです（東京支局）

兩道知事入城

新任忠淸南道知事時實秋穗、平北知事飯尾藤次郎の兩氏は一日午後入城浦尾旅館に投宿せり

大阪財界便り
鴻池銀行革新

鴻池銀行の組織變更は今回主務省より認可の指令に接したれば直ちに拂込みの手續を終へ當局の認可を申請をなせし由にて其順序は先づ資本金七百萬圓の內拂込金四分の一なる百七十五萬圓の新株式會社を組織し之れに從來の鴻池本家三百萬圓の合名會社を合併し資本金總額一千萬圓拂込金四百七十五萬圓となる譯にて本年內は諸般の準備及び引繼事務に忙殺せらるべきに依り愈々新會社名義を以て營業開始に至るは明年一月よりの豫定なりと

地所思惑買

北大阪電鐵は來年中に延長なる十三、崇禪寺千里山間に運轉開始をなさん意氣込にて目下頻りに工事着手の準備中なるが同電鐵敷設計畫の影響として吹田方面が俄に阪神兩地の人士に注目せられ地所思惑買も盛んに行はれ隨つて地價も暴騰し神戶信託株式會社の如きは逸早く吹田の山方なる千里山附近及び下新庄崇禪寺十三附近に亘り三四萬坪の地所を比較的安價に買占めたる由

晋達界混戰

世界の晋達界を左右する英國のブラナモンド會社は大に販路擴張に努めして本邦に於ける晋達業者も少からざる影響を受け居れるに折に英國のロスチャイルド其他の合資經營に係るマガジー晋達會社なるもの顯はれて其成分の優良と價格の低廉を呼び物として神戶鈴木商店が東亞に於ける販賣を引受けたる由なれば將來本邦晋達界も頗る繁忙となりて競爭戰は到底免れざるべしと

樟腦產額消長

本邦樟腦の產額は大正五年度の產額一千百六十三萬四千斤なりしに六年度には七百七十六萬七千斤に減じ七年度は更に四百十七萬八千斤に激減せり之れ時局の影響に因る米材木騰貴により樟腦原料として伐採するよりは寧ろ木材として賣却する方が遙に利益多きことゝ而して資本主が材木の前途に一段の騰貴を見越して賣り惜み伐り出を控ゆる傾向なるが更に專賣局にては年來數次の價格引上げを發表したるも常に木材の騰貴に隨從し得ざるが爲めにて專賣局の割當を見るに七年度に於て精製業者百六十六萬九千斤、內地セルロイド百八十萬八千斤、龍腦其他消費百十二萬七千斤合計二百六十萬四千斤にて自餘の二百十七萬二千斤は悉く歐米商人に拂下げ輸出せられたる由にて此外に內地精製樟腦の用地需要は總精製の一割に過ぎずして他の九割は英米に輸出せられセルロイド原料に使用せらる由なれば我國產出の樟腦の大部分は歐米セルロイド業の原料として供給せらるものにて實に歐米のセルロイド工業の死活を制するは本邦樟腦製造業者の手裡にある次第也（大阪）

人事消息

▲梅津三菱製鐵所長　一日退城
▲小泉代議士　一日夜退城
▲今井朝鮮銀行京城支店長　一日夜退城
▲先川朝鮮銀行四平街支店長　一日夜退城
▲堀朝鮮銀行奉天支店長　一日夜退城
▲竹末朝鮮銀行鎭南浦支店長　一日夜退城

鳥瞰錄

英國統計學者ホーン氏の調査に依れば英國日用品の物價は歐洲戰役前當時三百圓のものが現今では千圓になつて約三倍の騰貴だと倫敦タイムスは報じて居るが日本では三倍どころか四倍五倍になつてゐるものがある▲何處も生活に苦しめられて居る事は御同樣である▲日本でも本年始め陸軍に增俸が實施されたが英國に比すれば足元へもよりつかない▲英國陸軍では將校以下の俸給を十割增しとし大將は年五萬圓、少將は二萬圓、大尉は六千圓、下士は一日三圓五十錢、兵卒は一日一圓五十錢に增加したもの▲而して日本は手當不十分との評がある▲英國も日本も同樣將校志願者が年々減つて行く傾向が著しい▲武士は食はねど高楊子は現代には通用せぬらしい▲龍山では九月末日までに狩獵許可書を願出たものが九十四名ある去年の四十六名に比すれば倍以上である▲其の顏振れを見ると淨法寺師團長を筆頭に大尉中尉の青年將校やら滿鐵の黑澤工場長など美事な腕利が多い▲誰が一番手柄を現はすか是からが見物と御座い▲狩獵はじめの一日に雉子の兒一羽を氣まり惡げに提げて歸つた人を見たが御本人より獲れた者の方が氣まりが惡い▲白井權八君ぢやないが雉子も鳴かずば擊たれもしめいに益無い殺生は御座るまいか

[illegible]

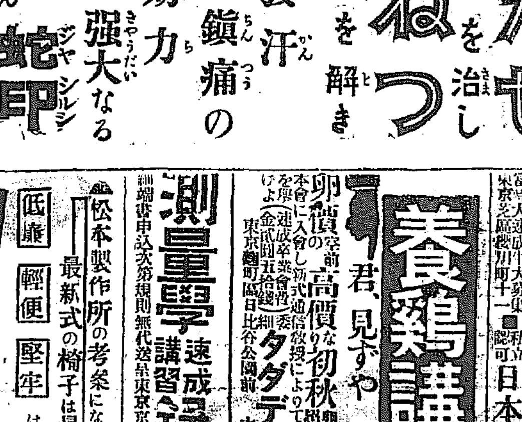
かぜを治し ねつを解き
發汗 鎭痛の効力 強大なる
安全第一のかぜねつ藥
蛇印 アンチピリン丸
■三大特長 最新高貴原藥を配伍す 絕對に副作用なし 胃に溶け易く効驗偉大
■主効 かぜ、ねつ■はやりかぜ■はしか■リウマチス■オコリ■頭痛其他熱病一切の諸症に卓効あり
藥價 十錢より各種
滿七歲以下のコドモのかぜ、ねつ、には小兒專門解熱新藥「オイン」に限る。
藥價 十錢、二十錢、三十錢
▲全國各藥店に取次す
本舖 大阪 東京 丹平商會藥房

簿記 通學 寄宿 校外 募集
私立 認可 日本簿記專修學校
東京芝區櫻川町十一

養鷄講義錄
君、見ずや 卵價の空前の高價な初秋
タダテ ハガキにて御申越あれ
東京麴町區日比谷公園前 大日本養鷄會

測量學速成講習錄
新式通信教授を以て測量の一般を授け速成三ケ月修了の講習生を募集す
細則書申込次第無代進呈

松本製作所の考案になれる最新式の椅子は最善の努力になる!!
低廉 輕便 堅牢 は本品の特色



新形椅子
營業種目
椅子テーブル 室內裝飾品 和洋家具類 體操器械 運動具 學校用器具 製造販賣
營業案內無代進呈
京城本町三丁目 松本製作所 電話一四八九番 振替京城六一三八番

看板はフシノ工舍
サツポロビール廣告部 京城本町三丁目 電話七三一番

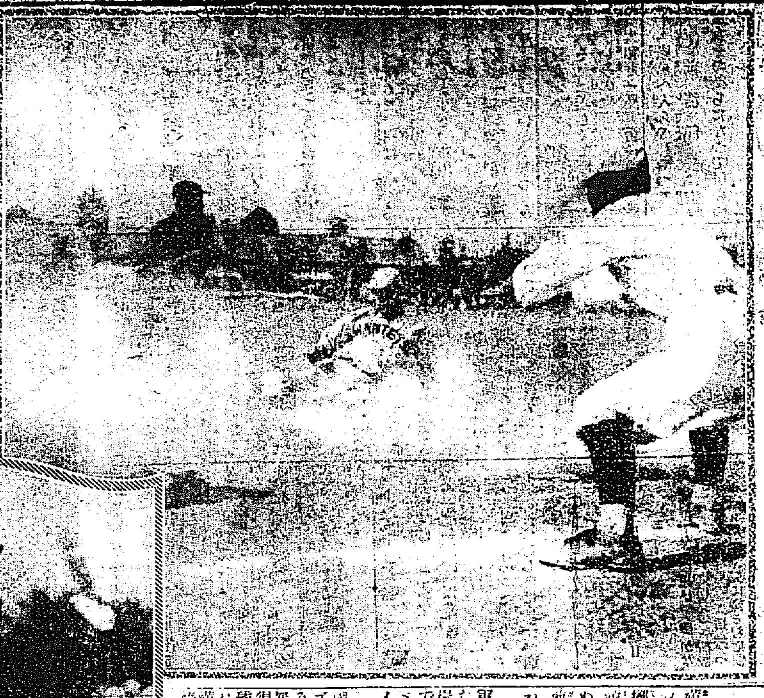
眼科專門 金井眼科醫院
京城黃金町 電話一五五六
新築落成◉入院設備完全

大日本優等清酒 白鶴（ハクツル）
品質純良 衞生無害

製造元 加納合名會社
發賣元 京城 前田酒店

虎疫流行の時
最も的確なる殺菌力と蛔及其幼虫を斃すには
特製クームヒン の御使用を
啓 衞生課御用
製造元 京城旭町一丁目 山田禎輔
特約店 新井藥房 島久支店

下關期米特電
大阪株式



龍山原頭の大野球戰（上）試合の光景（下）久保京管局長の始球

龍山鐵道軍 滿俱軍を破る

七對二のスコアーにて

待ち設けた大野球戰 龍山原頭人を以て埋る

滿洲倶樂部野球團は旣報の通り一日午後二時より「龍山鐵道公園で舉行された、滿俱軍は東都遠征の途中京門の血祭として朝鮮野球團を一蹴すべく態々立寄つたもの、鐵道軍は又此の勁敵を迎擊すべく頃日來必死となつて猛練習を繼けたのであるから此試合は多大の興味を以て迎へられ幾萬とも知れぬ觀衆は折柄の秋晴に定刻前から詰め掛け十重二十重と運動場を圍みながら競技開始を今や遲しと待受けた。

兩軍の陣容

滿俱軍　2 中澤　7 増田　8 大門　9 岸（片瀬）　1 片瀬（岸）　6 高橋　5 人見　3 高橋（井上）　4 岩崎

鐵道軍　8 網干　7 猪俣　1 林田　4 宮永　9 松島　2 駒井　3 門田見　5 楢部　6 千葉

（審判）淺見、管波、倉田

戰の幕開かる あゝ此慘敗

午後二時十分拍手喝采の如き拍手に迎へられて滿俱軍が守備に就き鐵道軍の第一打者網干がボックスに起つ、淺見正審のプレーで久保管理局長の始球式が鮮かに濟むと試合の幕は切つて落された。此日運動場は立錐の餘地なき迄の觀衆は鳴を靜めてジッと成行を見守つてゐる、京管の觀衆は一壘側に紅い造花を帽子に挾み三壘側にも又鐵道の戰捷を祈る、敵滿軍は旅の疲れも感ずる暇もない爲へ岸投手がプレートに立つて左翼に退いて一寸調子を下げた爲か劈頭より網干の安打、猪俣の三壘打、林田のバント

全く崩れ

一舉三點を纖滿軍に與へて仕舞つた、是ではならぬと一回の中途から岸をプレートに立て盛んに力戰したが、最早甚甲斐もあらばこそ、鐵道軍の爲に絡はれ壓迫され漸く第四回に痛快な三壘打とホームランで二點を得たのみ遂に最終まで慘敗の憂目を見るに至つた、滿俱軍にして此の慘敗！ 寔に仕ましい蹉跌として何人も意外とするところで有らう岸主將は無限の涙を呑んで『此有樣ではドノ面下てオメ〳〵内地へ行かれやうぞ』と嘆いて居たが全く無理もない假令鐵道軍に林田、宮永、千葉等の諸豪が入つたとしても東都の五大チームを居つた滿俱軍としては今日の敗方は餘りに呆つ氣ない、是では滿俱軍の實力も疑はれると云ふ者もある位で果して何うか

試合經過

第一回（鐵道四滿俱零）鐵道軍先攻、網干先づ投手越の安打で出て二壘を盜んだが、猪俣の痛快な三壘打があつて網干生還し、林田一壘へ絶好バントを打つて猪俣生還し、宮永遊擊ゴロで續いて進み、松島三振し、駒井の遊擊越の安打で譯もなく林田生還し、一舉三點を得たので、滿俱軍は投手を岸に改めたが一壘手のパスで宮永生還す、然し岸投手の怪腕は能く此難局を拾收して駒井を三壘に刺殺し、門田見に三振を與へて終つた、滿俱軍は中澤センターに飛球死し、増田左翼へ安打して進んだが、二壘を盜まんとして刺されて終つた。大門一壘へ飛球死し全く無爲

第二回（兩軍無得）鐵道軍楢部、千葉三振し網干も殘念ながら三振に終つた、滿俱軍は岸、遊擊ゴロで進み一壘のパスで二壘を得たが、三壘を盜まんとして刺され、片瀬二壘にフライアウト、高橋三振して終る。

第三回（鐵道一滿俱零）鐵道軍猪俣四球を利し林田一壘ゴロに死に、宮永遊擊ゴロで進み、猪俣三壘を得た時、投手の暴投があつて猪俣生還し一點を得たが松島飛球に死し、駒井四球に出たがホームで刺殺されて終つた、滿俱軍人見高橋凡打凡死し、岩崎四球、中澤遊擊ゴロで一二壘を得、滿俱軍の機會は來たが增田の投手ゴロ平凡に終り、遂に機會を逸して了つたのは殘念であつた。

第四回（鐵道一滿俱二）鐵道軍門田見三振、楢部死球で進み千葉の凡打凡死に三壘を得更に網干の安打に生還す、網干は盜壘鮮かに三壘迄進んだが猪俣三振して終る、滿俱軍大門、痛快な三壘打を中堅に飛ばして一舉三壘を得、岸の左翼大飛球柵を超ゆるホームランとなり大門、岸續いて生還し諸見物を喜ばせた、片瀬凡死高橋打者の實力を示したのは無性三振したが人見右翼へ安打して出で投手の惡球を利して三壘へ來た、高橋四球で一壘へ出た刹那人見飛鳥の如く本壘を衝いたが殘念ながら本壘に憤死して終つた

第五回（兩軍無得）鐵道軍、林田宮永凡打凡死し松島三振す、滿俱軍は岩崎死球で進んだが中澤遊擊ゴロ、増田死球で進んだもの、驍將大門岸共に續けて三振したので鐵道軍からは歡呼盛んに湧き滿俱軍の眉宇には悲痛の色が浮んでゐる。

第六回（鐵道一滿俱零）鐵道軍駒井凡死、門田見四球、楢部捕手の逸球で出て、門田見三壘を盜んだが之が危ふく問題にならうとした、幸ひ文句も付かずに終つたもの、審判の正確さを疑はれた、千葉三振したが門田見生還し一點を得、網干三振で終り、滿俱軍片瀬、高橋凡打凡死、人見三振して終る。

第七回（兩軍無得）滿俱軍は一壘手を井上に更へる、岸投手の怪腕は全く鐵道軍の打擊を封じ、猪俣、林田、宮永總て三振す、滿俱軍井上、岩崎、凡打凡死し中澤四球で進み、エラーに乘じて一躍ホームを衝き、本壘に憤死す

第八回（兩軍無得）全く凡打凡死し共に無爲

第九回（兩軍無得）鐵道軍楢部三振、千葉三壘ゴロで進み、網干の三振、續いて千葉も二壘に刺殺されて終る、滿俱軍は所謂最後の一戰とて殺氣自ら漲つの慨ありしも何等手を附けず全く無爲に終り、遂に七對二と云ふ全く傷ましきスコアーで滿俱軍の敗戰に歸した、時に午後五時。

兩軍の戰蹟

滿俱軍

	選手	四球	三振	安打	打擊數
2	中澤	1	0	1	3
7	増田	1	0	1	3
8	大門	0	1	1	4
9	岸（片瀬）	0	1	1	4
1	片瀬（岸）	0	1	0	4
6	高橋	1	2	0	3
5	人見	1	1	1	4
3	高橋（井上）	2	0	0	3
4	岩崎	0	0	0	1
	計	6	6	5	29

鐵道軍

	選手	四球	三振	安打	打擊數
8	網干	0	2	2	5
7	猪俣	0	2	1	3
1	林田	0	1	0	3
4	宮永	0	1	1	4
9	松島	0	2	0	4
2	駒井	1	0	1	3
3	門田見	1	2	0	3
5	楢部	1	3	0	3
6	千葉	0	2	0	4
	計	3	15	5	32

興味ある今日の戰

鐵道捷つか滿俱勝つか

滿俱軍は今二日鐵道軍と第二回試合を行ふ筈であるから定めて乾坤一擲の大決戰を見せるに違ひない鐵道軍が再び滿俱軍を破り得るか滿俱軍が果して會稽の恥を雪ぐか結果は今迄に豫測する事は出來ぬ。今日の一戰こそ最も興味あるものであらう、試合の時間は前日同樣午後二時から、行け鐵道公園へ！

追憶の夢

實彈戰鬪射擊見物（3）

砲兵陣地から

廿八日、於平康　小龍

射擊は益々猛烈を極める。高森中隊長は敵陣地を眺めては『遠し』『低し』『高し』『近し』の號令を矢から矢と浴びせかける。凛とした號令の嚴しさ雄々しさ。小隊長も下士も兵卒も口をきつと結んで眼が血走つてゐる。緊張した態度は見るもの心までおのづから引き締らせる。是が實戰なら前面の步兵は粉碎されやう。阿鼻叫喚の聲が聞えさうだ。前面の丘阜の上にはポカリと硝煙が漂つては消える。

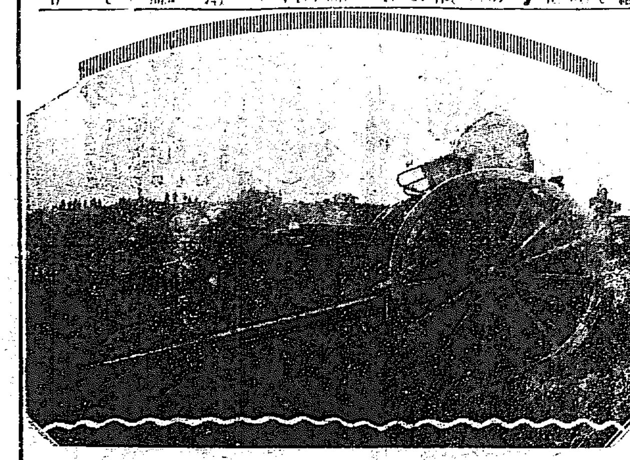
私は此の勇ましい光景をレンズに入れてから附近の石に据て戰況の推移を待つた。高原の秋は既に深いとは云ふもの、眞晝の日光は流石に暑い。帽の庇の下にはじつとりと汗が滲んだ。かさ〳〵と聲へやうもない淋しい音が時折周圍から起るので聲する方を見廻すと尺許りなる柏の蝕ばんだ葉が風に揺れては鳴るのである。右を向くと淡い紫の桔梗の花が優しい面影を見せてゐた。

私は去年の西伯利の秋を思ひ出さずには居られなかつた。ゼーヤ河に於ける敵砲艦の猛射、宮川騎兵隊の徒步戰、追擊——眼を閉ぢると砲聲と號令の響が聞えるので、從軍の日の戰場が髣髴として腦裡から浮んで來る。背後攻擊戰に敵砲彈の猛射を浴びた時其の時よ、山の斜面にくびりついてゐた私の滑稽な姿をまざ〳〵と眼前に描かずには居られなかつた。

電話のベルがけたゝましく鳴るので振り返ると一人の兵が電話器を耳に當て、敵陣地にある監的手よりの通話を受けてゐるのである。今の射擊が有効であつたか無かつたかは監的手との通話聯絡で直ぐ判るのだ。放列では甚だ勇ましく方向操作を以て左右の間隔、砲擊の高低を細測してゐる。宛ら實戰を見るやうである。

射擊の分火が有効に入つたので戰鬪射擊は中止された。中隊長は小隊長以下を集めて陣を作つて講評を始めた。陣地占領の可否、馬匹選擇の可否とそれから夫れと續いた。

此の演習地は約五百萬坪の面積であるが、大きな礫石さへごろ〳〵横たはつて居らなければ、津の演習場より遙かに勝れて居る。東方遙に斗流峰の峻嶺が雲の上に夢と浮び西には淺利峰、北には寶山が嶺かしさうに山肌を見せてゐるみづ〳〵した、青い空を白いちぎれ雲が流れてゆくのも風情がある。かさ〳〵と柏の葉が音を立てた。



實彈射擊演習（記事參照）

除隊兵に軍服附與

愈よ今議會に豫算提出

陸軍省では久しい前から除隊兵士卒に軍服一着を附與する計畫があつたが除隊兵は年に十二萬以上にも達する關係上、材料購買の今日では經費の巨額に上り容易に實行する運びに至らなかつたが愈々來る第四十二議會に豫算を提出する事となり近く藏省に廻附される筈である、右に就き松田副官は曰く「之は年々繼續して數百萬圓を要するので陸軍省としては頗る困難だが旣に實施して居る上では演習點呼等が頻々と行はれるのでその必要は一層で今度被服を出す事となつたのは夏冬被服一着と帽子用靴としての原底延長で在鄕軍人には便利が多い」（東京）

ラポラ大佐 日本へ飛行せん

ダヌンチオ氏に代つて

戰時中屢々其巧妙なる飛行に對し表彰されたるラポラ大佐はダヌンチオ氏に代り羅馬東京間を飛行す可し（羅馬電報）

注射を强制

兩警察署とも

龍山の虎疫患者は竟に確定したるより龍山署は町洞路兩署にては豫防注射を勵行すると共に一般市民に注射を施行すべく一般市民も亦自ら進んで豫防注射を受くべし

白米復騰る

今日から一升五十二錢

一升下りさうな氣配の見れた白米小賣相場も朝米や玄米の緊乎に伴れて又々二日から一升に付一等五十二錢二等五十一錢に値上する事になつた四十錢臺は當分見られさうもない形勢である

穩かならぬ 花中の夢

鮮人新派劇を直ちに禁止さる

鮮人八名と良民の青年等が組織せる新派劇團一行十九名は全鮮各地を巡業しつゝ府内に乘り込み同地大和座に於て開演し『花中の夢』と云ふ一劇中に爆彈事件を想像する一人物を登場せしむる如き將校の裏面に潜んで陰謀を企むやうな筋で興行するといふ計畫に付ては當局では斯かる劇は治安を紊すものとして直ちに禁止した

緩衝機

投書歡迎

亂暴な教師

公憤生

私は殘酷な體罰を借りて誣に他人を中傷しやうとする者ではないが府の南部にある某小學校の體操教師は頗る評判が惡るい只評判が惡るいだけなら關はないが事苟も育英問題に關する重大事であるから黙して居られない。抑々體操は單に體育が目的だけでなく品性の陶冶や精神の鼓舞も併せて目的とするものであるから[illegible]

檄文の取消

一局員

[illegible]

傳染病

府内死亡者　南　洞二百二十番地石橋たか（四七）西小門町百二十七番地三浦榮（四七）は赤痢太平通一丁目五十九番地石塚しげる（二九）本町五丁目四番地信浦初枝（二）は腸チブスにて卅日何れも田中丸病院へ▲永樂町二丁目八十六番地宮井德馬（三七）黄金町四丁目八十二番地市川十二（三）は腸チブス▲元南洞百十番地金英海（二〇）は猩紅熱にて卅日何れも順化院へ收容さる

將棋虎の卷（七）

本社嘱託　淵呂木六段述

縛り手は卑怯ものか

待駒、卑怯でない事は昨日お話した通りですが一旦指した手を指し替へる事は賤しい手です、待駒は飛や角いふ連中に反て手を指替へる處がマッタと云ふ人が多い、此の方が餘程卑怯です、待駒は將棋道に於ては最も必要とする一の手で例へば決勝戰に入つた時一枚の金を以て敵の王將の逃路をふさぎつ、我王將の備へとなり攻守兩樣を巧にかねて勝利を決するやうな場合も間々あるので、寧ろ大いに研究し學ぶべきであらうと思ひます。

次ぎは**縛り手の**お話ですが、之れは前の待駒と混同して同一に考へて居る人も少くないやうですが、待駒とは似て非なるもので少しく異つた處があります縛り手といふのは敵の王將を遠く走らしめぬやう拔穴へ捨て駒などを打つて〳〵りつけて行く手をいふので、日露戰役の我艦隊の**旅順閉塞**といふやうな却々深甚な意味のあるもので名家の指將棋の中にも往々面白い待駒やシバリ等の手が發見されます此道理が解ると自然待駒縛り卑怯と言ふ事がなくなると共に自分が指す場合にも詰まらぬ氣をせずとも可い事になります。見す〳〵**逆馬に入**られるにも拘はらず待駒を遠慮した爲め後から敵の王將を追ひ入れて了ひ、立派な勝將棋を負にして殘念がるやうな事はなくなるでせう

戸締の御用心

空巣狙ひ多し

物見遊山等の候になれば每年空巣狙ひが殖ゆる時であるが近頃の樣に野に山に一家を空にして出步く時は戸締が最も肝要である九月中本町署のみの盜難屆が一日平均十五件に達し被害格は一日五百圓以上（物品を含む）に及んで居る四季の内最も盜難の多い時は花時と九月頃だとの事だから用心が肝要である

晩近藥物化學の進步

頭腦の改造藥

神經系にエネルギーを附與せしむる活生燐劑の作用に就て　發表

何病氣でも病氣に愉快な病氣はないが殊に神經衰弱ヒステリー（血の道）位不愉快な疾病はない。その癖他人の目から忘れ易く、現に病氣に罹つてゐる人自身でも氣付かぬ場合もあるから次の記事を精讀する必要がある

◇本病患者の徴候

[illegible]

圖治療方法に就て

圖頭腦生活の快味

發賣元　東京市日本橋區　弘濟藥　大阪東區　弘濟藥院

急告〳〵急告

毛布

本毛製特別大判　金三圓廿五錢

東京驛前株式會社東京毛布店

龍山練兵場前　金山大廳町二丁目　元山本町三丁目　平壤櫻町十二番地　仁川宮町二丁目　大邱三笠町停車場前　晋州大安洞第　咸興本町二八九　大邱本町

有田ドラッグ

にせ物あり　有田　取次店

百圓

りん病　ばい毒

みだれ咲き

第百六十二回　島山碧波作　森田久畫

劍の刄渡りをするやうな險難を犯して首尾能く花の家より操子を助け出したお蓮は、活動のフィルムのやうに意外の事實が展開して來るのに驚いて居る操子を自動車に乘せてしまふと、

『牧野さん、追手が來たやうですから早くお逃げなさつて下さい』

次郎吉老人と共に運轉手臺へ腰を降ろして牧野は。

『お蓮さん、安心をなさい此處まで來た以上はモウ誰が來ようとも大丈夫です』

莞爾と笑を洩らした、其儘向島の長堤を南に向つて一散に走り出した。

『貴女‥‥‥』

漸うと心に落付きの出て來た操子は、自分の脇へ腰を掛けて居るお蓮を呼び。

『是れから何處へ參るのでございます』

恐しい次郎吉老人と馴れ〳〵しく口を利いた此の婦人は、如何なる素性の人かと奇異の謎を抱いて自分が是れから行く先を訊して見た。

『お母樣のところへお連れ申すのでございます』

『あら‥‥‥』

夫れと聽くと、思はず知らず大きな聲を出した操子は。

『さう致しますと、市川へ參るのでせうか』

彼の女は一時も早く懷みの母親初江に逢ひ度いのであつた。

『貴女がキット御滿足遊ばすお染物それは美しくて叮嚀で安くて早いみのや染店でムい升　京城大和町一丁目　電話一四六二番』

『イエ東京へ入らつしやつて兩國停車場前の清水館と云ふ宿屋に貴女をお待ちになつて居らつしやいます』

『まア左樣でございますか、夫れでは貴女は母にお逢ひなさつたのでございますね』

『嬉しい、母が邸の事を知らずに‥‥』

操子は、狹い自動車の中にお蓮の方へ身を擦り寄せた。

『はい、今日あの花の家へ化込みますまで市川のお宅に居りましたのです』

牛乳　朝鮮師團衞戍病院御用　岡野牧場　京城東四軒町　電話一〇六九番

『あら左樣でございますか、さうして母の處に十五六に成ります男の子が居りませんでしたらうか』

弟思ひの操子は、自分が邸を出る時まで行方が知れなかつた龍雄の身を案じ、夫と無く其消息を訊ねるのであつた、自分が邸を出た後、母の許を訪れたやうなことは無からうかと思つてお蓮に訊すのであつた。

『‥‥‥』

他のことの質問ならば左程でも無いが、自分が東海、山陽の兩線の列車中で、黑狹無比の手段を執つて苦しめた龍雄のことを訊されると、流石のお蓮もサッと顏色が變つて言下に明快な答辯が出來無くなつてしまつた。

『もし貴女‥‥‥』

お蓮の樣子に氣が附いた操子は、早くも何か不吉のことがあるのを察し、息を喘ませながらお蓮を見上げ。

『今、お聽き申しましたのは私の弟で御座いますが、仔細あつて私と同じやうに邸を出て居るので御座います、でございますから樣子をお尋ねしたのです』

『お孃樣、若樣は唯今高輪の二階堂家に居らつしやいます』

『あらお祖父樣のところに居りますか』

操子は始めて安堵の思ひをした、夢裡の間にも案じて居た弟が、母の實家に居ると聽いて始めて晴れやかな笑を蒼白い面へ浮べるのであつた。

『若樣の御身體に‥‥‥いろ〳〵申上げたいことがありますが夫は私の口から申し上げられません』

『あら何故でございます』

操子は亦ら不安の念に襲はれながらお蓮の面を眺めた、其時自動車は早くも筋違川岸を疾驅し兩國の方へ曲つて清水館の前へ停つた。

『あら操子が‥‥‥』

旅館の見世先に待ち侘びて居た初江夫人は、我が娘の姿を眺めると共に我を忘れて土間へ馳け降りた。

懸賞川柳(一)

劍花坊先生選

『秋の風』

問題は未決の儘で秋の風　京城　京頑家

秋の風質札を見るなまけ者　京城　風來坊

金の無い男へ秋の風が吹き　若草町　耕哉

首つりの顏を吹いてる秋の風　龍山　死口

秋風が吹いてキモノの話　安東　不會得

秋の風瘋癲院の灯が赤い　龍山　多美郎

蝶々が次第に死ぬる秋の風　京城　一錢

劍花坊先生より　懸賞川柳先づ成功の方なり、なか〳〵澤山集まり案外の手間と時間とがかかり候間不取敢、別封を以て出來た丈け御送り申上候殘りは一兩日中に御送り可申候、秀逸の一等當選は次便の原稿中に可有之候間、左樣御承知願上候

京日紙上俳句會 ＝出句發表＝

●●●●(次回課題)『鬼』『朝』『大馬鹿』▲十月十五日締切　句數無制限　▲一週一回締切は選者の東京在住關係上實行し難きにより臨時指定する事とせり　▲一等當選者に對しては金一圓商品券を呈す

▲砧▼

二三六　高麗の月旅の思ひや砧かな
二三七　若ける家や焚火に見ゆる砧哉
二三八　海に入る大海音なく砧打つ
二三九　父の名を問ふ兒に綴るむ砧哉
二四〇　迷ひ子の辿る小里や遠砧
二四一　交々さ松籟に和す砧かな
二四二　砧折々松吹く風に聞ゆけり
二四三　尼寺の川に打ち込む小夜砧
二四四　薄月夜庭垣に聽く遠砧
二四五　月の下に砧の家の小さきかな
二四六　門辭すれば又打出でし砧かな
二四七　降る雨を知らでありけり砧哉
二四八　醉うて戻れ妻聲でありし砧哉
二四九　砧打つ心尖りし母子かな
二五〇　暗き灯に蜘蛛打ち出でし砧哉
二五一　出征の夫思はるゝ砧かな
二五二　捨てし子は拾成になるらむ打つ砧
二五三　嫁の來て調子も揃ふ砧かな
二五四　夜の更けて山家の奥の砧かな
二五五　姑のそぶり冷たし砧石
二五六　砧打ち止めて姑說き出せり
二五七　馬止めて砧の聲に宿りけり
二五八　子の泣ける破れ障子や衣打つ
二五九　背の子に氣を兼ねて打つ砧哉
二六〇　戀人に音聞かさばやさ砧打つ
二六一　秋深し砧に和すや蟲の聲
二六二　砧打つ音もせはしき夜寒かな
二六三　隣の家の砧に一村更けにけり
二六四　西東貧さ富さの砧かな
二六五　牛叱る尖り聲過ぎて砧かな
二六六　和ごき顏の我が妻や兒や四手砧
二六七　狹き道洩るゝ灯や小夜砧
二六八　嵯峨の里都に近き砧かな
二六九　月明かし我家への道易く砧哉
二七〇　姉妹惡風に誘はれず砧打つ
二七一　此の寺に女狸や小夜砧
二七二　打止めて隣も聞いてあり
二七三　油々の砧高鳴る月夜かな
二七四　打ち始め笑ひくづれし砧かな
二七五　雨の夜を砧聞きつゝ夢に入る
二七六　月冴ゑて四隣寂たり小夜砧
二七七　砧うつ音やんでから蟲の聲
二七八　靜なつて山家の砧まさりけり
二七九　主は離れ砧の音や朝寒し
二八〇　麥畑砧の香に手や輕し
二八一　母のなき此の娘十六砧綠る
二八二　朝寒き片側町の砧かな
二八三　破れ蓮に月の砧の影淋し
二八四　休む日も閑に聞けり小夜砧
二八五　遠砧更け行く月の礎かな
二八六　愛き我をなぶる亂打の砧かな
二八七　遠近に砧の音消ゆる暴風吹く
二八八　ひさひさげ氷て街の夜や砧の音
二八九　背戶の川瀨音かすかに砧かな
二九〇　澁柿を剝ぐ庭更けて砧かな
二九一　子が抱いて夫待つ門の砧かな
二九二　砧ひゞく由緒ある人の邸住居
二九三　渓川や砧打つ女の野菊かな
二九四　穂粟に月さして砧隣りなり
二九五　砧轉ぶ山椒は秋滿てり
二九六　月の庭帽も無く打つ砧
二九七　遠征の留守もる妻の砧かな
二九八　四手打つや聞けば妹が姉なりさ
二九九　遠近に砧の聲も夜寒かな
三〇〇　堀つかれぬ夜半に冴ゆる遠砧
三〇一　秋高く暖耳微かに砧の音
三〇二　秋風の身に染む夜半や砧の音
三〇三　田舍にも改放叫ぶ今も響きぬた
三〇四　さんさんさ電報の樣な朝鮮砧
三〇五　月や水や砧に更くる三軒家
三〇六　蟲の音も雜る山家の砧かな
三〇七　老いぬれば寢返りに聞く砧哉
三〇八　戀過し香ばし花の小夜砧
三〇九　魚を干す窮屋並ぶや飛ぶ蜻蛉
三一〇　風ぎし川飛ぶ蜻蛉の波紋かな
三一一　蜻蛉疲れて砧の音に眠りけり
三一二　からころの砧の音や秋の聲
三一三　更くる夜を小唄交りの砧かな
三一四　廻り緣や砧の妻の月明り
三一五　薄月消て時雨くるらし打つ砧
三一六　藏番翁に砧の妻の若さかな
三一七　砧爽か丘の窓徐かに澄み行く
三一八　砧隣りて溫突の夜は更けぬ
三一九　兒や眠さめたる砧ハタと止む
三二〇　大峰の月に向うて砧かな
三二一　一つ灯に縫ふさ碪の姉妹かな
三二二　夜は更けてトギレトギレに打つ砧
三二三　夜半の雨シトシト降りて遠砧
三二四　都には聞かれぬ月の砧かな
三二五　評判の砧大きく響きけり
三二六　砧夜の庭にほの白く芙蓉かな
三二七　御上淋し街暗くなりて砧かな
三二八　たたずみて月もきき入る合砧
三二九　夫さ子はおさぎばなしや小夜砧
三三〇　滿洲の野へ遠征や砧の夫
三三一　胡蘆さぼふら窮屋に砧きく
三三二　胡茄かなし砧悲しき夜なりけり
三三三　立て膝のくづれて砧興に入る
三三四　蟲の音に通ふ砧の哀れかな
三三五　朝まだき砧の音やかひ〴〵し
三三六　池の面に砧流れて里寢れぬ
三三七　八道の步靜なり遠砧
三三八　點々と燈火の家や砧打つ
三三九　旅枕砧きゝつゝ夢に入る
三四〇　四手打つ障子にひくく旅枕
三四一　衣擣ち蹟香に惚きて灯のゆらぐ
三四二　此處へ來てここの砧を聞にけり
三四三　孫嫁さ末娘の砧宵のうち
三四四　砧の音聞ゆ木の下草鞋捨てたる
三四五　鼓迎火和し砧の音それともつれ
三四六　斷食の腹にこたゆる砧かな
三四七　曉の砧淋しや施療院
三四八　隣國に砧の音や溪一重
三四九　名所給に殘る古驛の砧かな
三五〇　にら臭き鮮人町の砧かな
三五一　車座に半喰うて居る砧かな
三五二　初秋の十五夜の月見て砧かな
三五三　子が泣きてしばしやみぬる砧哉
三五四　亡き母の手振に同じ砧かな
三五五　更くる夜に音の冴ゆけり遠砧
三五六　市區改正街の砧や病み上り
三五七　八潮や孫に重たし砧かな
三五八　海山は凪に暮れけり遠砧
三五九　靜み止めて月の江に聞く砧哉
三六〇　住めば都砧聞く夜の一軒家
三六一　ヤンパンの砧に馴れたる解哉
三六二　唐臼の伏て句ふよな打つ砧
三六三　育て藏月を砕けり砧音
三六四　留守の妻夫知れやさ打つ砧
三六五　嫁病むや姑故ぜさ打つ砧
三六六　秋雨に砧響ふや樂の家
三六七　夜深くさすらひ人に泣く砧
三六八　砧かたことへさ又家まはりよ
三六九　廿日な滑ぎ下る江岸砧一しきり
三七〇　月仲天にはなれ窮家の砧打ち
三七一　藁屋根の光影も薄き砧かな
三七二　行燈の薄ら灯に打つ砧かな
三七三　籠谷けば砧の月の座に滿てり
三七四　田所や衣擣つ家のチラ〳〵灯
三七五　世は夢かはた幻か遠砧
三七六　乙に打つ音は母かや相砧
三七七　寢た親へ氣遣ふ嫁の砧かな
三七八　孝に打つ砧天迄ひびきけり
三七九　笑聲もれて砧の亂かな
三八〇　病む母を氣遣うて打つ砧かな
三八一　せはしげな音や砧の仕舞際
三八二　破れ垣を通して月の砧かな
三八三　大江山鬼住む里の砧かな
三八四　四手打ちつ干しつ砧にたゆみつゝ
三八五　砧打つ村まで友さ月に步す
三八六　姉死んで隣りの砧の音かなし
三八七　野良犬吼ゆ遠くに砧打つ音
三八八　夢たゝく夜は短かなり砧かな
三八九　お茶漬め母に代つて砧かな
三九〇　遠砧海女が家より高く低く
三九一　鎌の音さ砧の聲や秋の夕
三九二　砧の聲に早や秋の夜も更けにけり
三九三　星疎ら谷に谺す砧かな
三九四　砧打つ女若うして夜を知らず
三九五　水蒸氣消ゆざる午後の砧かな
三九六　砧打つや向ふの里も裏町も
三九七　在鮮五年未だ獨りきく砧かな
三九八　あの村もこの里も月の砧かな
三九九　月も富士も私語く如し小夜砧
四〇〇　月かげさ共に更け行く遠砧

○理想的の自動車鐵道

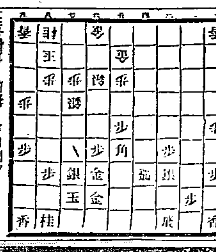
近來北米合衆國に於て屢試驗の結果好成績を擧げ今や各地に賞用せられつゝある自動車鐵道は現代の理想的交通機關にしてゴムタイヤの必要なく、經費も五分の一乃至十分の一に止り運搬能力は實に十倍以上を增加し得べく、他鐵道の如く架空線、電柱、發動機、變電所、高價なる牽引機關車等の設備を要せざるのみならず、速力も遙に快速なる等各種の特長あり、而して此の自動車鐵道には軌道運轉、地上軌道併用運轉、無軌條式市街線運轉、機關車代用の四種ありて、風間自動車運輸業の油戰、經費に大節約を來さしめ、ラパスィナ費を絕對不要とするが如き一大特長を有するを以て、新設鐵道、輕鐵業者は之を自動車鐵道に又從來の一地方運輸に改良し以て經費の削減を計り容貨迄を遞減し得べし。尚本自動車鐵道は東京市京橋區銀座四丁目の自動車鐵道工業會社の製作に係り該運轉は過日東京橫濱間鐵道會社線支線に於て現行せしが成績頗る良好にて報告書も發行濟なり尚陸軍省より御用を蒙り目下各種車輛の製作を急ぎつゝありと

將棋新手合(其五)

溝呂木六段評

平手番　△釜山　園田　四ノ二段
先　▲京城　廣戶庄吉(初段)
(於京城若草町九七溝呂木將棋所)

◎は前號指了迄の局面



△廣戶氏　持駒　桂步

〔第二圖〕▲四五步△七二金(ワ)▲四九飛△六一金ヨル▲四四步△四七步▲八六銀△六五步▲同步△三八角△三九飛△四八步ナル▲同銀△五六角ナル▲同金△六五銀▲同金△五六角▲六七銀△六五角▲六六步(カ)△七四角▲七五銀以下次號

溝呂木六段評
▲(ワ)七二金上るは穩なる良手なり敵して敵の駒切れなる時は仕舞ず我が陣地の姿を直し挑戰を待つ方得策なり
▲(カ)六六步は七七桂さ指す處なり

ミツワ石鹸

○ミツワ石鹸　大形定價一個金二十五錢　中形定價一個金十八錢　小形定價一個金十二錢　細小形定價一個金六錢

ミツワの商標を付せる製品は、品質純良にして、代表的のものなることは定評あり、ミツワ石鹸は實に國產石鹸を代表するものにして、其品質の優良無比なること、殊に皮膚毛髮の美的嗜好に荃纍ある本邦人の化粧用石鹸として、其目的に適すべきものは、此ミツワ石鹸を措いて、他に之を求むること難し、毫も刺激を感ずる虞なく、細かき泡沫を生じ適度の溶解性を備へ、能く水にも溶解して、而も浴室に用ひて、絕對に半途に溶け崩るゝ憂なき等、本品の特徴にして、浴室化粧用として衛生經濟に合致せる理想的實用品なり。

○特製ミツワ石鹸(赤箱)　定價一個金四十錢

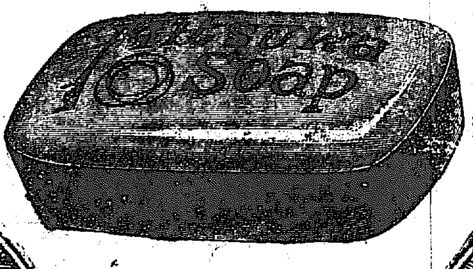
ミツワ石鹸と品質毫も異なることなく優良至純にして、皮脂の分泌量多く而も粗糙なる本邦人の皮膚及漆黑を尊ぶ毛髮の洗滌に適し殊に特殊の芳香を加味せるが故に、爽快の感は得られ、又半途に溶け崩るゝ憂なきを以て、浴室化粧用たるべきものなり。包裝に赤箱を用ふるが爲、普通赤箱と稱せられ推賞せらるゝものなり。

○煉製ミツワ芳香石鹸　三十番金三十五錢　五十番金五十五錢　百番金貳圓

ミツワ石鹸及特製ミツワ石鹸(赤箱)の品質純良にして、單に化學上の純正石鹸たるのみならず、化粧用石鹸として、最良好適なるが如く、本品も亦同じく純正無比の品質を有せり、然して其特徴とする所は、煉製品なるを以て溶解頗る遲にして、化粧臺用に最も適し、殊に郁烈なる芳香料を加味せるを以て、芳氣馥郁として使用後も餘香殘存して心氣清爽たることを得るものなり。

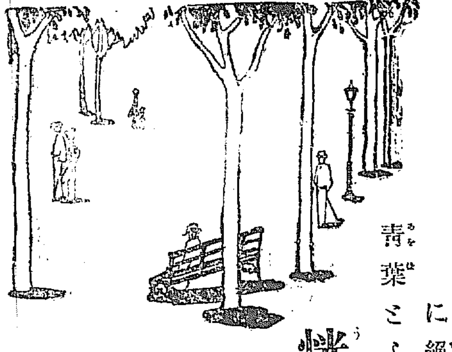
○ミツワ洗濯石鹸　大形定價一個金十五錢　小形一個金八錢

洗濯石鹸と云へば、多くは粗製品にして、眞に洗濯の目的に適するもの僅少なり、本品は洗濯石鹸は粗製品なりと云ふ誤解を去るべく、且つ實用經濟に合して、洗濯の意義に適することを目的として、提供されたるものにして、綿布毛織物を洗ひ絹布を濯ぐも、毫も地質を傷むることなく、能く汚垢を落して、雪白ならしむると共に、染色益々鮮明ならしむるものにして、而も從來の如く揉み擦つて洗ふ必要なく、簡易なる特殊のミツワ洗濯法に依りて、手數と時間を省略し得るものなり。



東京　丸見屋商店

公園の散歩に



青葉とよく調和し芳香馥郁として
絕好のお化粧料は
恍惚させる程お顏を白くする
高貴御化粧料
ホーカー液

白さと香の上品な
ホーカー液の特長
□顏面の色を白く、キメを細かにし
□日ヤケ汗ヤケ風ヤケを防ぎ艶を增す
□白粉のトキふきすればノリノビをよくし
□ヒゲ剃後に用ゐて剃刀かぶれの憂ひなし

□一瓶八十錢　四十錢　二十錢(送料內地六錢)
全國到處の化粧品店にあり
ホーカー本舖　東京神田和泉橋　堀越嘉太郎商店　電話神田一四三・一四四・一四五　振替東京一五六

ぜんそく湯

ぜんそくには醫師も妙藥がないので只た一時押へに注射など致しますが根本的には何の效果もありません此ぜんそく湯は和漢藥中の効驗最も的確なるもので而も何等の副作用なく如何なる重症にも即効があり連續服用する時は病根自ら絕滅します

◎藥價　各五十錢・一圓廿錢・二圓五十錢・五圓
○送料十二錢・外地四十五錢……(各藥店にあり)
本舖　東京小石川下富坂町廿　無量壽藥園(電話小石川二五一六　振替東京一〇〇二)

味噌の横綱　ほまれ味噌

尼崎汽船出帆
○群山木浦仁川大阪行　赤城丸　十月　日
○大阪神戶行　[illegible]
仁川海岸通　尼崎汽船部　電話二九

共同汽船出帆
▲青島大連行　第一共同丸　十月　日
大連直行　第二共同丸　十月　日
仁川代理店　本町四丁目　阿波共同汽船株式會社

日本郵船出帆
大連、天津行　相模丸　十月　日
元山代理店　[illegible]
京城取次店　河村運送部

互光商會出帆廣告
第三互光丸　第二互光丸　十月　日
釜山　大池回漕部

朝鮮郵船出帆
京畿丸　平安丸　越後丸　咸鏡丸　慶興丸　清津丸　晉州丸　木浦丸　天草丸　江原丸　大連丸
本社　京城南大門通　電話長　二二三
其他各支店出張所代理店